

少年審判通訳ハンドブック

【スペイン語】

(改訂版)

最高裁判所事務総局

はじめに

少年審判において少年や保護者などが日本語を理解できない者である場合には、適正な調査や審判を実現するために、通訳が正しく行われることが必要です。しかし、調査や審判でのやり取りを正確に通訳することは、熟練した通訳人でも難しいものと思われまゝ。まして、法律を学んだことのない方が初めて少年審判の通訳をする場合は、戸惑うことが多いと思います。そのような場合、あらかじめ、調査や審判などでよく使われる定型的表現や用語についての通訳例を承知しておくとともに、少年審判がどのような目的で、どのような手続に従って行われるのかということについて正しい予備知識を持っておくことは、適切な通訳を行うために大切なことであると思われまゝ。

このハンドブックは、少年審判の通訳をすることになった方のために、通訳人として心得ておいていただきたいと思われること、知っていること役に立つと思われることをまとめ、通訳をする際の参考としていただくために作成したもので、少年審判の概要を説明した部分、通訳に当たっての注意事項を取りまとめた部分、調査や審判などでよく使われる定型的表現の対訳部分、さらに用語の対訳部分の4編からなっています。

このハンドブックが広く少年審判の通訳に当たる方の執務の参考になれば幸いです。

平成28年3月

最高裁判所事務総局家庭局

目 次

| | | |
|-----|-----------------|---|
| 第1編 | 少年審判の概要 | |
| 第1 | 少年審判の意義と基本原理 | 1 |
| 1 | 少年審判の意義 | 1 |
| 2 | 少年審判の基本原則 | 1 |
| (1) | 教育主義（保護主義） | 1 |
| (2) | 個別処遇の原則（処遇の個別化） | 2 |
| (3) | 職権主義 | 3 |
| 第2 | 少年審判手続の流れ | 3 |
| 1 | 事件の受理 | 3 |
| (1) | 対象事件 | 3 |
| ア | 少年保護事件 | 3 |
| (ア) | 犯罪少年 | 3 |
| (イ) | 触法少年 | 3 |
| (ウ) | ぐ犯少年 | 3 |
| イ | 強制的措置許可申請事件 | 4 |
| ウ | 準少年保護事件 | 4 |
| (2) | 事件受理の態様 | 4 |
| 2 | 観護措置 | 4 |
| (1) | 意義 | 4 |
| (2) | 手続 | 5 |
| ア | 通訳人の氏名などの確認及び宣誓 | 5 |
| イ | 家庭裁判所調査官による面接 | 5 |
| ウ | 裁判官による観護措置決定手続 | 5 |
| (ア) | 少年の氏名などの確認 | 5 |
| (イ) | 黙秘権及び付添人選任権の告知 | 6 |

| | |
|-----------------------|----|
| (ウ) 非行事実の告知及び少年の弁解の聴取 | 6 |
| (エ) 決定の告知 | 6 |
| (オ) ウィーン条約の説明 | 6 |
| (3) 期間など | 6 |
| 3 調査 | 7 |
| (1) 裁判官による法的調査 | 7 |
| (2) 家庭裁判所調査官による社会調査 | 7 |
| 4 審判 | 8 |
| (1) 審判の開始 | 8 |
| (2) 審判の場所，関与者など | 8 |
| (3) 手続 | 9 |
| ア 審判開始の宣言 | 9 |
| イ 通訳人の氏名などの確認と宣誓 | 9 |
| ウ 少年の氏名などの確認 | 9 |
| エ 黙秘権の告知 | 9 |
| オ 非行事実の審理 | 9 |
| カ 要保護性の審理 | 10 |
| キ 決定の告知 | 10 |
| (ア) 保護処分 | 10 |
| a 保護観察 | 10 |
| b 児童自立支援施設又は児童養護施設送致 | 10 |
| c 少年院送致 | 11 |
| (イ) 不処分 | 11 |
| (ウ) 知事又は児童相談所長送致 | 11 |
| (エ) 検察官送致 | 11 |
| (オ) 試験観察 | 12 |

| | | |
|-----|-----------------------|----|
| | (カ) 没取 | 12 |
| | (キ) 訴訟費用の負担 | 13 |
| | ク 保護処分の趣旨の説明 | 13 |
| | ケ 抗告権の告知 | 13 |
| | コ ウィーン条約の説明 | 13 |
| 5 | 検察官及び弁護士である付添人が関与した審理 | 13 |
| 6 | 被害者等の傍聴 | 14 |
| 第2編 | 通訳に当たっての注意事項 | 15 |
| 第1 | 一般的注意事項 | 15 |
| 第2 | 具体的注意事項 | 17 |
| 1 | 観護措置決定手続段階 | 17 |
| 2 | 調査段階 | 17 |
| 3 | 審判段階 | 18 |
| 第3編 | 定型文言の対訳 | 20 |
| 第1 | 観護措置決定手続 | 20 |
| 1 | 家庭裁判所調査官による面接 | 20 |
| 2 | 前置き | 20 |
| 3 | 少年の氏名などの確認 | 22 |
| 4 | 黙秘権の告知 | 22 |
| 5 | 付添人選任権の告知 | 22 |
| 6 | 非行事実の告知 | 22 |
| 7 | 少年の弁解の聴取 | 24 |
| 8 | 観護措置をとらない場合 | 24 |
| 9 | 観護措置をとる場合（決定の告知等） | 24 |
| 10 | 少年鑑別所収容の通知の説明 | 24 |
| 11 | ウィーン条約の説明 | 24 |

| | | |
|----|-----------------------------------|----|
| 第2 | 調査手続 | 26 |
| 1 | 前置き | 26 |
| 2 | 少年の氏名などの確認 | 26 |
| 3 | 手続の説明 | 26 |
| 4 | 審判の説明 | 28 |
| 5 | 処分の説明 | 28 |
| 第3 | 審判手続 | 30 |
| 1 | 審判開始の宣言 | 30 |
| 2 | 少年の氏名などの確認 | 30 |
| 3 | 黙秘権の告知 | 30 |
| 4 | 被害者等の傍聴がある場合の説明 | 32 |
| 5 | 非行事実の告知 | 32 |
| 6 | 少年の弁解の聴取 | 32 |
| 7 | 証人尋問手続 | 32 |
| 8 | 聴取の終了 | 34 |
| 9 | 調査官の意見陳述 | 34 |
| 10 | 付添人の意見陳述 | 34 |
| 11 | 決定などの告知及びその説明 | 34 |
| 12 | 抗告権の告知（保護処分に付された場合） | 34 |
| 13 | ウィーン条約の説明 （少年院送致や少年院への戻し収容の場合） | 34 |
| 第4 | 非行事実の告知 | 36 |
| 1 | 窃盗罪（万引）の例 | 36 |
| 2 | 窃盗罪（バイク盗）の例 | 36 |
| 3 | 遺失物等横領罪の例 | 36 |
| 4 | 傷害罪の例 | 36 |

| | | |
|----|-----------------------------------|----|
| 5 | 強盗罪の例 | 38 |
| 6 | 殺人罪の例（その1） | 38 |
| 7 | 殺人罪の例（その2） | 38 |
| 8 | 覚せい剤取締法違反の例 | 38 |
| 9 | 毒物及び劇物取締法違反の例 | 40 |
| 10 | 過失運転致傷罪の例 | 40 |
| 11 | 道路交通法違反（無免許運転）の例 | 40 |
| 12 | 道路交通法違反（速度違反）の例 | 40 |
| 13 | 売春防止法違反の例 | 40 |
| 14 | 出入国管理及び難民認定法違反の例 | 42 |
| 15 | ぐ犯の例 | 42 |
| 第5 | 決定などの告知及びその説明 | 42 |
| 1 | 保護観察決定などの告知及びその説明 | 42 |
| | (1) 保護観察決定の告知及びその説明 | 42 |
| | (2) 交通短期保護観察の処遇勧告の告知及びその説明 | 44 |
| 2 | 児童自立支援施設又は児童養護施設送致決定の告知 及びその説明 | 44 |
| 3 | 少年院送致決定などの告知及びその説明 | 44 |
| | (1) 少年院送致決定の告知及びその説明 | 44 |
| | (2) 処遇勧告の告知及びその説明 | 44 |
| | ア 短期間の処遇勧告の説明 | 44 |
| | イ 特別短期間の処遇勧告の説明 | 44 |
| 4 | 不処分決定の告知 | 44 |
| 5 | 知事又は児童相談所長への送致決定の告知 | 46 |
| 6 | 検察官送致決定の告知 | 46 |
| 7 | 強制的措置許可決定の告知 | 46 |

| | | |
|------|--------------------|----|
| 8 | 強制的措置不許可決定の告知 | 46 |
| 9 | 試験観察決定などの告知及びその説明 | 46 |
| 10 | 没取決定の告知 | 46 |
| 11 | 訴訟費用負担決定の告知 | 46 |
| 12 | 戻し収容決定の告知 | 48 |
| 13 | 収容継続決定の告知 | 48 |
| 14 | 保護処分の取消決定の告知 | 48 |
| 15 | 施設送致決定の告知 | 48 |
| 第6 | 書式例 | 50 |
| 書式1 | 少年と保護者の皆さんへ（身柄事件用） | 50 |
| 書式2 | 少年と保護者の皆さんへ（在宅事件用） | 52 |
| 書式3 | 審判期日通知書 | 54 |
| 書式4 | 呼出状 | 56 |
| 書式5 | 呼出状（調査） | 58 |
| 書式6 | 同行状（緊急） | 60 |
| 書式7 | 観護措置通知書 | 62 |
| 書式8 | 付添人選任届 | 64 |
| 書式9 | 付添人選任に関する通知及び照会 | 66 |
| 書式10 | 付添人選任に関する回答書 | 68 |
| 書式11 | 決定通知書（審判不開始決定） | 70 |
| 書式12 | 証人召喚状 | 72 |
| 書式13 | 証人等整理票 | 74 |
| 書式14 | 宣誓書 | 76 |
| 書式15 | 通報の要請に関する照会 | 78 |
| 第4編 | 用語の対訳 | 80 |
| 第1 | 法律関係用語 | 80 |

| | | |
|----|--------------|-----|
| 第2 | 調査関係用語 | 94 |
| 第3 | 官庁等諸機関名 | 97 |
| 第4 | 法令名 | 111 |
| 第5 | 罪名 | 106 |
| | 少年保護事件の手続の流れ | 110 |

第1編 少年審判の概要

第1 少年審判の意義と基本原理

1 少年審判の意義

一般に、少年は人格が未熟である半面、教育などにより改善される可能性が高いので、非行のある少年に対しては、責任を追及して刑罰による非難を加えるのではなく、非行の背景を探り、少年に保護、教育を行うことが、少年の健全な育成に役立つと考えられます。そこで、少年法（以下「法」といいます。）1条に掲げられている「少年の健全な育成」を図るため、非行のある少年の事件は、全て家庭裁判所に送らせ（これを「全件送致主義」といいます。）、家庭裁判所で少年の個別的な問題性を調査した上、個々の少年に応じた教育的な措置を行うこととされています。家庭裁判所における少年事件の審理は、刑事訴訟手続のように公開の法廷で検察官と被告人及び弁護人双方の主張につき裁判官が第三者的立場から判断をするのではなく、非公開の審判廷で、裁判官が、職権により、少年、保護者のほか、家庭裁判所調査官、付添人などの関係者の意見を聴いた上、少年の後見的役割も果たしつつ、少年の将来を考えて処分を決める構造となっています。一定の場合には、検察官も審判に出席しますが、この場合の検察官も家庭裁判所の審判の協力者として出席します。このように、少年の健全な育成を図る目的の下に家庭裁判所が行う、少年事件の受理から最終的な決定に至るまでの一連の手続を、少年審判といいます。

2 少年審判の基本原則

(1) 教育主義（保護主義）

少年審判は、非行のある少年について、できるだけ処罰でなく、教育的な手段によって非行性を矯正し、更生を図ることを目的としており、刑罰は、このような教育的な手段によって矯正することができないか、それが不適當な場合に限って科せられることになっています。これは、少年は、精神的に未熟、不

安定で、環境の影響を受けやすく、非行に至った場合にも必ずしも犯罪性が進んでいない者が多いので、これを成人と同視して、その責任を追及することは適当でないという考えと、少年は、たとえ罪を犯した場合にも人格の発達途上にあるものとして、成人に比べなお豊かな教育的可能性（可塑性）を有しており、指導や教育によって更生させることが期待できるにもかかわらず、教育によらずに刑罰という制裁を科すことは、本人の将来のためにならないばかりでなく、社会にとっても決して得策ではないという考えに基づいています。

このような考え方を教育主義といいます。教育主義は、全ての少年事件を家庭裁判所に送らせ（全件送致主義）、家庭裁判所において、必要な調査を行った上で少年の処分を決める仕組みになっていることにも表れています。

(2) 個別処遇の原理（処遇の個別化）

少年の非行の原因は様々であり、性格、環境などの問題点も多岐にわたりますから、これに対処して少年の非行性を取り除き、その更生を図るには、少年の個別的な問題性に応じた処遇を行うことが必要になります。このため、家庭裁判所においては、心理学、教育学、社会学などの行動科学の知見を活用した専門的な調査について訓練を受けている家庭裁判所調査官が、非行が起こったメカニズムを分析し、再非行を防ぐための手立てを検討するために、非行の経緯、少年の性格、生育歴、少年を取り巻く環境などについて調べます（社会調査）。さらに、必要な少年に対しては、少年鑑別所において鑑別が行われることもあります。

また、個別的な処遇方法としては、保護処分として、保護観察、児童自立支援施設又は児童養護施設送致、少年院送致があり、保護観察と少年院送致については、運用上様々な処遇が用意されているほか、試験観察などの中間的な措置や家庭裁判所調査官による教育的な働き掛け（保護的措置）などがあります。刑事裁判の場合と異なり、少年の個別的な問題性に応じた処遇を選択することができるようになっています。

(3) 職権主義

刑事裁判では、被告人と検察官の対立する当事者がお互いに攻撃や防御を行い、裁判所が第三者的立場から判断を下すという当事者主義的な構造がとられています。少年審判では、これと異なり、家庭裁判所が、少年の健全な育成を図るため、自ら少年に関する広範な調査を行い、審問を行う職権主義的な構造がとられています。

少年審判に関与する者は、少年、保護者のほか、家庭裁判所調査官、付添人、検察官、保護観察官、保護司、少年鑑別所の職員、学校の教師など多数にわたりますが、いずれも少年の健全な育成という目的の下に協力的な立場に関与するものとされています。

第2 少年審判手続の流れ

1 事件の受理

(1) 対象事件

ア 少年保護事件

これは、家庭裁判所に送られてきた少年を保護処分に付すかどうかを判断する事件で、家庭裁判所が取り扱う少年に関する事件の中の主なものです。その対象となる少年は、次の3種類があります。

(ア) 犯罪少年

1 4歳以上20歳未満の罪を犯した少年（法3条1項1号）

(イ) 触法少年

刑罰の定めのある法令に触れる行為をしたが、行為の時14歳未満であったため、刑法上罪を犯したことにならない少年（法3条1項2号）

(ウ) ぐ犯少年

20歳未満で、保護者の正当な監督に服しないとか、正当な理由がないのに家庭に寄り付かないとか、あるいはいかがわしい場所に出入りするといった一定の行状があり、その性格や環境から見て将来罪を犯す又

は刑罰法令に触れる行為をするおそれのある少年（法3条1項3号）

イ 強制的措置許可申請事件

これは、児童相談所等で取り扱っている児童について、適切な保護を行うため、児童の行動の自由を制限し、又はその自由を奪うような強制的な措置を必要とするときに、児童相談所等がそのような措置をとることの許可を求めて家庭裁判所にその児童を送致する事件です（法6条の7第2項）。

ウ 準少年保護事件

保護処分取消事件（法27条の2）、収容継続申請事件（少年院法138条、139条）、戻し収容申請事件（更生保護法71条、72条）及び施設送致申請事件（更生保護法67条2項、法26条の4）を準少年保護事件といい、これらの事件の手続は、性質に反しない限り少年保護事件のそれと同様です（法27条の2第6項、少年院法138条5項、139条3項、法26条の4第3項）。

(2) 事件受理の態様

家庭裁判所が少年保護事件を受理する方法としては、警察(司法警察員)からの送致(法41条)、検察官からの送致(法42条)のほか、知事又は児童相談所長からの送致(児童福祉法27条1項4号、法3条2項)。家庭裁判所調査官からの報告(法7条1項)、一般人からの通告(法6条1項)があります。また、強制的措置許可申請事件は、知事又は児童相談所長から送致されます(法6条の7第2項、児童福祉法27条の3)。

刑事事件における裁判所への事件の係属は、原則として検察官による公訴の提起に限られています(刑事訴訟法247条)が、少年事件の場合には、一般人を含めて、少年の健全な育成に関心を持つ者からの通告などによっても、事件を家庭裁判所に係属させる制度をとっているのが特徴です。

2 観護措置

(1) 意義

観護措置とは、家庭裁判所が調査や審判をするために、少年の心情の安定を図りながら、少年の身柄を確保しておく措置をいいます。これには、少年を家庭などに置いたまま、家庭裁判所調査官が随時連絡を取って少年を観護するもの（法17条1項1号）と、少年を少年鑑別所に収容するもの（法17条1項2号）の2種類がありますが、前者はほとんど利用されておらず、通常、観護措置というときは後者を指します。

後者の観護措置では、少年を少年鑑別所に収容することによりその身柄を確保するとともに、少年の行動を観察しながら鑑別を行います。そして、鑑別の結果は家庭裁判所に報告され、調査や審判の資料とされます。以下では、後者の観護措置を前提として、説明します。

(2) 手続

ア 通訳人の氏名などの確認及び宣誓

家庭裁判所調査官による面接（後記イ）や裁判官による観護措置決定手続（後記ウ）の前提として、まず、通訳人の氏名などの確認と宣誓が行われます。通訳人は、裁判官から、氏名や住所、経歴、少年や保護者との身分関係などの有無、調査や審判などでの通訳経験の有無などを聴かれ、良心に従って誠実に通訳することを誓います。

イ 家庭裁判所調査官による面接

裁判官による観護措置決定手続（後記ウ）の前に、家庭裁判所調査官が短時間少年に面接し、観護措置の要否について家庭裁判所調査官の立場からの意見を裁判官に提出する場合があります。家庭裁判所調査官による面接では、少年の氏名や生年月日、国籍、非行事実などの確認が行われるほか、少年審判手続についての一般的な説明も行われます。

ウ 裁判官による観護措置決定手続

(ア) 少年の氏名などの確認

裁判官は、直接少年に会った上で、少年に対し、少年の氏名、生年月

日、職業、国籍、日本での住居などを聴いて、少年が人違いでないかどうかを確認します。

(イ) 黙秘権及び付添人選任権の告知

裁判官は、少年に対し、黙秘権及び付添人選任権を告げます。少年は裁判官の質問に対し、無理に答える必要はありません。また、少年事件において家庭裁判所の審判の協力者としての役割とともに、刑事事件の弁護人のような役割を果たす人を付添人といいますが、少年に付添人を選任できる権利（法10条）があることも分かりやすく説明します。

(ウ) 非行事実の告知及び少年の弁解の聴取

裁判官は、少年に対し、非行事実を告げて、少年の弁解を聴きます。

(エ) 決定の告知

裁判官は、少年に対し、観護措置をとる場合にはその旨の決定を告げ、観護措置をとらない場合にはその旨を告げます。

(オ) ウィーン条約の説明

裁判官が外国籍の少年について観護措置をとる旨の決定をした場合には、裁判官は、少年に対し、少年の希望があれば領事関係に関するウィーン条約に基づいて少年の国の駐日大使館などに通報する旨の説明などをします。ただし、この通報は、それまでにその事件で通報されていない場合に限ります。

なお、二国間条約に基づき、少年の希望の有無にかかわらず通報することとされている国の少年に対しては、ウィーン条約の説明は必要ありません。

(3) 期間など

少年を少年鑑別所に収容することができる期間は、原則として2週間ですが、特に継続の必要があるときは、更新することができます（法17条3項）。更新は原則として1回を超えて行うことはできませんが、例外的に、更に2回を

限度として行うことができます（法17条4項）。したがって、少年を少年鑑別所に収容しておくことのできる期間は、最長8週間ということになります。

通常は、少年鑑別所において行う少年の行動観察や鑑別のために相当の期間を要するため、4週間近く収容されることが多いのが実情です。また、観護措置は、その必要がなくなったときは、いつでも取り消すことができます（法17条8項）。

3 調査

(1) 裁判官による法的調査

家庭裁判所が事件を受理すると、裁判官は、まず捜査機関から送られてきた記録を検討して、少年に本当に非行があるのかどうかを調査します（法的調査）が、記録を検討した結果、少年に非行があるとの蓋然的心証を得た場合には、家庭裁判所調査官に対し、少年の要保護性についての調査（社会調査）を命じます。しかし、少年が捜査段階で非行事実を否認している場合や、証拠関係に不明な点があって、非行事実の認定に問題があると裁判官が考えた場合には、家庭裁判所調査官に調査を命じる前に、審判を開き、その点について直接少年の弁解を聴き、証人などを調べる場合もあります。

(2) 家庭裁判所調査官による社会調査

家庭裁判所調査官は、裁判官から調査を命じられると、行動科学等の専門的知識を活用して、非行の経緯、少年の性格、生育歴、少年を取り巻く環境などを調べ（社会調査）、非行の背景やメカニズムを分析するという役割を担っています。社会調査は、少年が非行を繰り返す傾向の強さ、その傾向を取り除くことのできる可能性、そして保護処分という手段で矯正することのできる可能性といった要素（要保護性といいます。）を検討するために行われます。。社会調査は、家庭裁判所調査官が主に少年や保護者などと面接して行われ、少年鑑別所に収容されている少年に対しては、少年鑑別所に出向いて行われます。少年との面接の際には、家庭裁判所調査官が、少年の氏名、生年月日、国籍や

非行事実などを確認するほか、少年の生育歴、入国の経緯、日本での生活状況、非行の経緯や背景などを聴きますが、一般的な手続の説明なども行います。

また、家庭裁判所調査官が少年の家に出向いて家庭などの状況を見てくるとや学校などに照会することもあります。調査に当たっては、少年の情操や名誉を傷つけないように、また、関係者の秘密が守られるように、十分な注意が払われています。

家庭裁判所調査官は、調査結果と少年が立ち直るために必要な処遇に関する意見を少年調査票という書面にまとめ、裁判官に報告します。

4 審判

(1) 審判の開始

裁判官は、家庭裁判所調査官の調査結果などを検討した上で、審判を開く必要があるかどうかを決めます。少年が事実を認めており、かつ、事案が軽微であり、調査の過程における家庭裁判所調査官からの教育的な働き掛けなどにより十分な手当てがされているなどの理由から、審判を開いて指導を行う必要がないと判断した場合には、審判不開始決定をして裁判官が少年に直接働き掛けを行うことなく手続を終了させます。少年が事実を否認している場合や保護処分（保護観察、少年院送致等）などの手当てをする必要があると判断した場合には、審判開始決定をして審判を開きます。

なお、少年が逮捕、勾留などにより身柄が拘束されたまま家庭裁判所に送致されて観護措置がとられたような場合には、調査命令を発する際に併せて審判開始決定をするのが一般です。

(2) 審判の場所、関与者など

審判は、原則として家庭裁判所の審判廷で行われ、非公開の場で、懇切を旨として、和やかに行うとともに、少年に対し、自己の非行について内省を促すものとされ（法22条1項）、少年の情操の保護が図られています。

審判には、裁判官、家庭裁判所調査官、裁判所書記官、少年及び少年の保護

者が出席し、場合によっては、付添人、検察官、学校の教師、雇い主、保護観察官、保護司、少年鑑別所の職員などが出席することもあります。また、一定の重大な事件では、被害者等が審判を傍聴することもあります。

なお、裁判官については、1人の場合と3人の場合があります。重大事件などについては3人の合議体で審判が行われ、そのうちの1人が裁判長として手続を進めます。以下では裁判官が1人の場合について記述しますが、3人の合議体で審判が行われた場合にも、基本的に同じです。

(3) 手続

ア 審判開始の宣言

審判を開始するに当たっては、まず、裁判官が審判の開始を宣言します。

イ 通訳人の氏名などの確認と宣誓

通訳人の氏名などの確認や宣誓が審判の前に行われていないときには、通訳人の氏名などの確認と宣誓が行われます。

通訳人は、裁判官から、氏名や住所、経歴、少年や保護者との身分関係などの有無、審判などでの通訳経験の有無などを聴かれ、良心に従って誠実に通訳することを誓います。

ウ 少年の氏名などの確認

裁判官は、少年に対し、少年の氏名、生年月日、職業、国籍、日本での住居などを聴いて、少年が人違いでないかどうかを確認します。

エ 黙秘権の告知

裁判官は、少年に対し、黙秘権を告げます。

オ 非行事実の審理

裁判官は、少年に対し、非行事実を告げて、少年の言い分を聴き、その上で捜査機関から送られてきた少年に不利な証拠の内容を告げて、これについて言い分を述べる機会を与えます。必要な場合には、証人尋問などの証拠調べも行われます。審判の進め方や証拠調べの範囲、方法などについては、裁

判官の裁量に委ねられていますが、この裁量も無制限ではなく、合理的なものでなければならないとされています。また、保護処分の決定を行うには、非行事実の存在について、間違いがないとの確信（合理的な疑いを超える確信）が必要とされています。

カ 要保護性の審理

裁判官は、非行事実の審理の結果、非行事実の存在について確信した場合には、続いて、少年の要保護性についての審理を行います。裁判官は、主として家庭裁判所調査官の作成した少年調査票や少年鑑別所の鑑別結果報告書の内容を踏まえて、少年や保護者に対し、非行の動機・原因のほか、少年自身の生い立ち、少年の家族関係、学校、職場などの環境などについて、そのポイントとなる点を確認し、あるいは自発的な発言を促してその言い分を十分に聴きます。また、その他の関係者から必要に応じて意見を述べてもらうこともあります。

キ 決定の告知

裁判官は、調査や審判の結果に基づいて、少年の非行事実及び要保護性を総合的に検討し、個々の少年の健全な育成のために最もふさわしい処分を決定し、少年にそれを告げます。

裁判官が審判で行う処分としては、次のようなものがあります。

(ア) 保護処分

a 保護観察

少年を家庭や職場に置いたまま、保護観察官や保護司が少年に対して指導監督と補導援護を行い、少年の改善更生を図るものです（法24条1項1号）。

b 児童自立支援施設又は児童養護施設送致

児童自立支援施設や児童養護施設という児童福祉施設に少年を送って教育や養護を行うものです（法24条1項2号）。

c 少年院送致

少年を少年院という特別の矯正教育施設に収容して、少年が健全なものの考え方や規則正しい生活習慣を身に付けることができるように指導するものです（法24条1項3号）。少年院には、第1種から第4種までの4種類がありますが、家庭裁判所が少年を送致するのはこのうち第1種から第3種までの少年院です。少年を送致する少年院の種類は、決定において定められます。また、家庭裁判所は、第1種少年院に少年を送致する場合には、短期間（6か月）又は特別短期間（4か月）で処遇を終えることが適当である旨の処遇勧告を付すことができ、その場合には、少年院長は家庭裁判所の処遇勧告をそのまま受け入れる運用が行われています。

(イ) 不処分

審判の結果、非行事実が認められない場合や、非行事実が認められても、特に保護処分に付すまでの必要はないと認められた場合に行われるもので、少年を保護処分に付さないことを宣言するものです（法23条2項）。

(ウ) 知事又は児童相談所長送致

少年を児童福祉施設に入所させたり、少年に児童福祉司や児童委員による指導を受けさせたりするなど、児童相談所の措置に委ねることが適当であると認められた場合に行われるものです（法23条1項、18条1項）。

(エ) 検察官送致

死刑、懲役又は禁錮に当たる罪の事件について、調査をした上、その事件の重大性や犯情、さらには、少年の犯罪的危険性、非行歴などから判断して、刑罰を科すのが相当と認められるときに、事件を検察官に送致するものです。また、殺人や傷害致死など故意の犯罪行為によって被

害者を死亡させた罪の事件であって、犯行時に16歳以上の少年に係るものについては、原則として事件を検察官に送致することとされています（法23条1項、20条）。

送致を受けた検察官は、犯罪の嫌疑がある限り、原則として、刑事裁判所に公訴を提起（起訴）しなければならないとされています（法45条5号）。

なお、このほかに、本人が20歳以上であることが判明したときにも、事件を検察官に送致する決定が行われます（法23条3項、19条2項）。

観護措置がとられている事件について、検察官送致の決定をするときは、あらかじめ、本人に対し、罪となるべき事実や弁護人を選任することができる旨などが告げられます。さらに、死刑又は無期若しくは長期3年を超える懲役若しくは禁錮に当たる事件については、本人に対し、貧困その他の事由により自ら弁護人を選任することができないときは弁護人の選任を請求することができる旨などが告げられます（少年審判規則24条の2）。

(オ) 試験観察

試験観察とは、家庭裁判所が直ちに保護処分を選択するかどうかの最終決定を行いにくい場合に、(ア)から(エ)までのような最終的な決定を留保したまま、少年の非行性や更生可能性を見定めるために、相当の期間、少年を家庭裁判所調査官の観察に付すという中間的な決定です。その際には、併せて、遵守事項を定めてその履行を命じたり、適当な施設や個人などに少年の補導を委託したり（これを「補導委託」といいます。）するなどして、少年の行動を観察することもあります（法25条）。

(カ) 没取

没取とは、犯罪少年や触法少年について、審判不開始決定や（ア）から（ウ）までの決定等をするに当たり、犯罪に利用した凶器など一定の物の所有権を少年から剥奪し、国庫に帰属させるために行われる処分です（法24条の2）。

（キ） 訴訟費用の負担

家庭裁判所へ送致される前に少年に国選弁護人が付された事件について、不処分又は保護処分の決定がされた場合には、家庭裁判所は、少年に対し、その国選弁護費用（訴訟費用）を負担させることができます（法45条の3、刑事訴訟法181条1項）。

ク 保護処分の趣旨の説明

裁判官は、保護処分の決定を告げる場合には、少年及び保護者に対し、保護処分の趣旨を懇切に説明し、これを十分に理解させます（少年審判規則35条1項）。

ケ 抗告権の告知

裁判官は、保護処分の決定を告げた場合には、少年及び保護者に対し、決定に不服があるときは2週間以内に抗告申立書を裁判所に差し出して抗告をすることができる旨を告げます（少年審判規則35条2項）。

コ ウィーン条約の説明

裁判官が少年院送致や少年院への戻し収容の決定を告げた場合には、裁判官は、少年に対し、少年の希望があれば領事関係に関するウィーン条約に基づいて少年の本国の駐日大使館などに通報する旨の説明などをします。ただし、この通報は、それまでにその事件で通報されていない場合に限りです。

なお、二国間条約に基づき、少年の希望の有無にかかわらず通報することとされている国の少年に対しては、ウィーン条約の説明は必要ありません。

5 検察官及び弁護士である付添人が関与した審理

検察官は、原則として少年審判に関与しませんが、家庭裁判所は一定の罪の事

件で、その事実認定手続に検察官が関与する必要があると認めるときは、審判に検察官を出席させることができます（法 22 条の 2）。この場合に、家庭裁判所は、少年に弁護士である付添人がないときは、弁護士である付添人を付すこととされています（法 22 条の 3 第 1 項）。

また、検察官が関与しない場合でも観護措置がとられている一定の罪の事件に係る犯罪少年や触法少年の審判において、事案の内容、保護者の有無その他の事情を考慮し、必要があると認めるときは、弁護士である付添人を付することができることとされています（法 22 条の 3 第 2 項）。

このようにして検察官や弁護士である付添人が出席した審判においては、検察官や付添人から証拠調べの申出がされたり、少年や証人などに対して質問がされたりします。ただし、刑事裁判と異なり、検察官や付添人は家庭裁判所の審判の協力者として関与します。

6 被害者等の傍聴

少年審判は原則として非公開ですが、犯罪少年又は触法少年が起こした一定の重大な事件の被害者等は、裁判所の許可を受けて少年審判を傍聴することができます。被害者等から傍聴の申出があった場合には、裁判所は、少年の年齢及び心身の状態、事件の性質、審判の状況その他の事情を考慮し、少年の健全な育成を妨げるおそれがなく相当と認めるときに限り、傍聴を許すことができます（法 22 条の 4）。

第2編 通訳に当たっての注意事項

第1編で少年審判の概要をおおむね御理解いただけたことと思います。通訳人の皆さんは、この少年審判の中で、言葉の通じない外国人の少年や保護者などと少年審判に関与する他の人とのいわばパイプ役を果たしていただくこととなります。少年審判においては、まず、少年に調査や審判などで何が行われているかを十分に理解させる必要があります。そして、裁判官や家庭裁判所調査官と少年などとの意思の疎通を十分に行いながら審理を進めていかなければなりません。そのためには正確な通訳が必要です。

本編では、通訳人の皆さんに心得ておいていただきたい注意事項をまとめてみました。

第1 一般的注意事項

1 良心に従って誠実に通訳を行ってください。

通訳人の皆さんには、通訳をするに当たってその旨の宣誓をしていただきます。これは、法律に基づくもので、適正な調査や審判などを実現するためのものです。

なお、故意に偽りの通訳を行いますと、処罰されることがあります。

2 公正を保ってください。

少年審判は、偏りのない、公正な手続で行われなければなりません。通訳人も、通訳をするに当たっては、立場上公正さを疑われるような行動をとってはならないので、少年や保護者などと交友関係があるなど特別の関係にある場合には、直ちに申し出てください。警察や検察庁での当該少年に対する取調べに通訳人として立ち会ったことがある場合には、必ず裁判所にその旨を伝えてください。また、少年や保護者などに対して名刺を渡したり、電話番号を教えたりするなど、少年やその関係者から接触してくる機会を与えないようにしてください。

もちろん、一緒に飲食したり、贈り物を受け取ったりするなどの行為は、絶対に行わないでください。

3 職務上知り得た秘密を漏らさないでください。

少年事件の調査や審判は、少年の社会復帰を助けるため、非公開で行われ、その内容は、外部には知らされません。特に、少年の非行の内容が外部に知れると、少年が就職する妨げになったり、学校を退学になったりすることがあり、その更生に著しい悪影響を及ぼすことがあります。

通訳人の方は、調査や審判などの過程で、事件の内容に関する様々なことを知ります。特に、調査や審判においては、その性質上、少年の生育環境や心身の状況など、少年のプライバシーに関することを知ることも多くあります。これらの内容は絶対に他に漏らさないでください。少年審判は、秘密性を重視して行われるものですから、秘密の保護には特に注意してください。家庭裁判所調査官による調査に際しては、少年と保護者の間でも秘密にされている事項についての話もよくありますので、これらについては、外部だけではなく、少年や保護者に対しても、絶対に漏らさないでください。

4 少年から調査や審判以外の場で質問されたり、話しかけられたりした場合にも、少年との会話の内容については十分に注意してください。

少年は、慣れない土地で身体の自由の拘束を受けるなどしていますので、自分の話す言葉を理解してくれる通訳人に様々な相談をすることもあるかと思われまます。しかし、通訳人の個人的な経験などから、審判の見通しや今後の手続などを話したりすると、これによって少年が誤った期待等を抱いてしまうおそれが多分にあります。通訳人は、少年の助言者ではありません。少年の保護者、友人などから問合せや相談があった場合も同様です。

5 裁判所では、通訳人の皆さんに、正確な通訳をしていただくために、少年の非行事実を記載した書類をお渡しすることがありますが、この書類は、審判が終了したらすぐに担当の裁判所書記官に返却してください。また、分からないことが

あれば、担当の裁判所書記官にお尋ねください。

第2 具体的注意事項

1 観護措置決定手続段階

観護措置決定手続は、少年を少年鑑別所に收容するか否かを決める重要な手続ですから、裁判官や少年が話したことを忠実に通訳してください。観護措置決定手続段階における注意事項は、基本的に審判段階におけるものと同様ですから、後記3を参考にしてください。

2 調査段階

- (1) 家庭裁判所調査官、少年及び保護者が話したことを忠実に通訳してください。

家庭裁判所調査官は、行動科学の専門的知識を背景に、少年との面接の中で、様々な角度から少年に質問、あるいは心理テストなどを行い、少年の要保護性を調査します。家庭裁判所調査官の質問に対する少年の返答内容や態度などは、全て少年の人格を理解するために重要な要素となり、また、家庭裁判所調査官は、少年の反応や性格などにより、質問方法を変化させていきます。したがって、家庭裁判所調査官の質問を正確に通訳し、少年や保護者の言葉をできる限り忠実に通訳してください。一部を省略したり、話した内容を簡単にまとめてその趣旨だけを通訳したりすることは極力避けてください。また、少年や保護者が質問に対する答え以外にも話をしている場合や質問をしていないのに話を始めた場合にも、その発言を禁止せずに通訳してください。

- (2) 通訳するときに、通訳人による評価を交えたり、コメントを付け加えたりしないでください。

通訳は、発言をできるだけ忠実に通訳することが原則です。通訳人が評価を交えるなどすると、発言の本当の内容が相手に伝わらず、誤解を生じることになります。もし家庭裁判所調査官が少年や保護者の発言の意味を理解できない場合には問い直しますので、通訳人がコメントを付け加えることは遠慮してください。

なお、少年を理解する上で必要と思われるもので、少年の母国の文化などについて、どうしても少年が説明しきれず、通訳人が裁判所に伝えておくことが望ましいと思われるものがある場合には、その旨を申し出た上、家庭裁判所調査官の指示に従ってください。

- (3) 家庭裁判所調査官の質問に分からない言葉があるなど疑問があった場合には、遠慮なく家庭裁判所調査官に尋ねてください。

通訳人を付けた事件の場合、家庭裁判所調査官はできるだけ簡潔に質問をするなどの工夫をするのが通例ですが、もし複雑な質問やいくつもの質問が一度にされたりして通訳に困難を感じる場合は、直ちにその旨を家庭裁判所調査官に申し出てください。また、専門用語などで意味の分からない言葉があった場合や、質問内容を正確に理解できない場合は、中途半端に処理しないで遠慮なく申し出てください。質問の意味をよく理解しないまま通訳を行ったのでは、調査の目的は達せられません。

- (4) 少年や保護者が通訳された内容を理解していないと見える場合には、通訳人の判断で少年などに追加説明しないでください。

質問する側としては、答える側がどれだけ質問を理解したかを把握することも大切です。少年や保護者が通訳された内容を理解していないと見える場合には、そのまま答えを通訳した上で、よく理解できていない旨を家庭裁判所調査官に告げてください。家庭裁判所調査官は、質問を変えるなどの工夫を行います。質問する側と答える側に食い違いがあるのにそのまま調査を進めると、思わぬ誤解を生じるおそれがあります。

- (5) 通訳を行っていただく際、発言を一通り訳し終わった場合には、「はい。」と声に出したり、家庭裁判所調査官の方を向いたりして、合図をしてください。

3 審判段階

- (1) 裁判官、少年、証人その他の関係者が話したことを忠実に通訳してください。
審判では、裁判官が同じ点について様々な角度から何度も尋ねることがあり

ます。これに対し、少年が同じようなことを繰り返しているように見える場合もあります。このような場合でも、それぞれの質問のニュアンスなどに注意して、言葉をできる限り忠実に通訳してください。一部を省略したり、話した内容を簡単にまとめてその趣旨だけを通訳することは極力避けてください。また、通訳するときには、通訳人による評価を交えたり、コメントを付け加えたり、裁判官の指示によらないで少年らの発言を禁止したりしないでください。

- (2) 裁判官等の質問に意味の分からない言葉があるなど通訳がやりにくいと感じたときは、遠慮なくその旨を裁判官に申し出てください。

通訳人を付けた事件の場合、裁判官等はできるだけ簡潔にわかりやすく質問するなどの工夫をするのが通例ですが、もし複雑な質問がされたりして通訳に困難を感じる場合は、直ちにその旨を裁判官に申し出てください。また、質問の途中で難しい言葉が出てきた場合や、質問内容を正確に理解できない場合は、中途半端に処理しないで遠慮なくその旨を申し出てください。質問の意味などをよく理解しないまま通訳を行ったのでは、審判の目的は達せられません。

- (3) 少年や証人が通訳された内容を理解していないと見える場合には、通訳人の判断で少年らに説明することなく、そのまま答えを通訳した上で、十分に理解できていない旨を裁判官に告げてください。裁判官は質問の仕方を変えたりして工夫します。質問する側と答える側に食い違いがあるのにそのまま手続を進めると、思わぬ誤解を生じたりします。

- (4) 通訳を行っていただく際、発言を一通り訳し終わった場合には、「はい。」と声に出したり、裁判官の方を向いたりして、合図をしてください。

第3編 定型文言の対訳

〔一般的には、ここに記載されたような方式で行われますが、必ずしもここに書かれているとおりの内容が述べられるとは限りませんし、ほかの内容が述べられることもあります。なお、本編では、裁判官が1人で、検察官が関与しない審理について記載していますが、裁判官が3人である場合や検察官が関与する場合についても、以下に記載した手続の流れは基本的に同じです。〕

第1 観護措置決定手続

1 家庭裁判所調査官による面接を行う場合

〔ここに記載されているほかは、第2の2以下の内容を参考にしてください。〕

私は、家庭裁判所調査官の〇〇です。

最初に、私が、今回の非行や現在の生活状況などについて聴き、その後に裁判官の面接があります。

裁判官の面接では、もう一度、君の名前、生年月日、職業、国籍、日本での住居などが聴かれます。

裁判官の面接では、今回君がしたとされている非行の内容が告げられ、弁解の機会を与えられます。

事実と違う点や納得のできない点があれば、その機会に述べてください。

裁判官は、今回の非行の内容、君のこれまでの生活状況などを考慮して、君の問題点を調べてもらうために、君を少年鑑別所に収容する必要があるかどうかを判断します。

2 前置き

私は、裁判官の〇〇です。

君について〇〇事件が送られてきました。

今後、君に本当に非行があるかどうかを確かめた上で、最終的な処分を決めて

I. Proceso de Tramitación de una Medida de Detención

1. Caso en el que se realiza la Entrevista con el Oficial de Prueba del Tribunal de Familia

[Para otros casos publicados aquí, sírvase consultar los contenidos de II, 2 en adelante]

Yo soy, el Oficial de Prueba del Tribunal de Familia.

En primer lugar, voy a hacerle algunas preguntas acerca del delito que Usted ha cometido y sobre la situación de su vida cotidiana actual y otros aspectos. Posteriormente también tendrá una entrevista con el Juez.

En dicha oportunidad, se le preguntarán nuevamente su nombre, fecha de nacimiento, ocupación, nacionalidad, domicilio en Japón, etc.

También el Juez lo pondrá en conocimiento sobre el contenido de su delito, y Usted podrá hacer uso de su palabra para justificarse o dar las explicaciones que considere necesarias.

Si encuentra cualquier objeción o algo en que no está de acuerdo o no concuerde con la realidad, tenga a bien señalarlo en esa oportunidad.

Tomando en cuenta el tipo de delito, antecedentes y estilo de vida que ha llevado, el Juez ordenará la realización de un test psicológico y otros exámenes a fin de conocer los puntos problemáticos de su persona, y definir si es necesario o no enviarlo a la Casa de Clasificación de Menores.

2. Introducción

Yo soy el Juez _____.

Se nos ha enviado un reporte sobre Usted en el caso de _____.

A partir de ahora se comprobará si Usted ha cometido el delito y se decidirá la medida correctiva definitiva, pero en el día de hoy, como pre-requisito, decidiremos si es necesario o no enviarlo a la Casa de Clasificación de Menores, donde se investigarán sus problemas.

いくこととなりますが、今日は、その前提として、君の問題点を調べてもらうために、君を少年鑑別所に送致する必要があるかどうかを決めます。

これからの手続については、裁判所が選任した通訳人が通訳することになります。通訳人は、誠実に通訳することを宣誓しています。

私の言っている意味が分からないときは、何でも遠慮なく聞いてください。

3 少年の氏名などの確認

名前は何といいますか。

生年月日はいつですか。

国籍はどこですか。

日本ではどこに住んでいますか。

仕事は何をしていますか。

4 黙秘権の告知

これからいくつか質問しますが、君は無理に答える必要はありません。黙っていてもそれだけで不利になることはありません。

しかし、言いたいことがあれば、遠慮なく話してください。

ただし、君が話したことは、君にとって有利か不利かを問わず、証拠として使われることがあります。

5 付添人選任権の告知

君や君のお父さん、お母さんなどの保護者は、今回の審判のために、付添人を頼むことができます。

付添人とは、裁判所の審判に協力しながら、君の権利を守ったり、相談に乗ってくれたりする人です。

弁護士以外の人を付添人に頼む場合は、家庭裁判所の許可が必要です。

6 非行事実の告知

これから、検察官（警察）から送られてきている事件の内容を読みます。

よく聞いておいてください。

Para los procedimientos que se realizarán a continuación, el Tribunal ha designado un intérprete, quien traducirá sus declaraciones. El intérprete está bajo juramento para traducir fielmente lo que Usted diga.

Si hay algo de lo que estoy diciendo que Usted no comprenda, no tenga reserva alguna en preguntar.

3. Verificación del nombre y otros datos del Menor

¿Cuál es su nombre completo?

¿Cuál es su fecha de nacimiento?

¿Cuál es su nacionalidad?

¿Cuál es su domicilio en Japón?

¿Cuál es su ocupación?

4. Notificación del Derecho a No Declarar

Ahora le haré varias preguntas, pero Usted no tiene la obligación de responderlas. Aunque permanezca en silencio, no será una desventaja.

Sin embargo, si hay algo que quiera decir, no tenga reservas en hablar.

No obstante, todo lo que diga, más allá de que le sea beneficioso o no, podrá ser tomado como pruebas del caso.

5. Notificación del Derecho a Nombrar un Acompañante

Tanto Usted como su padre, madre, u otra persona, quienes son sus tutores, pueden solicitar un Acompañante para esta audiencia.

El Acompañante es una persona que, cooperando con la Audiencia del Tribunal, defenderá sus derechos, lo asesorará en lo que requiera, etc.

En el caso de solicitar un Acompañante que no sea abogado, se requerirá la previa autorización del Tribunal de Familia.

6. Notificación de los hechos del delito

A partir de ahora vamos a leerle el informe enviado por la Fiscalía (la Policía) acerca del contenido del caso.

Escuche con atención.

[第4 (非行事実の告知) 参照]

7 少年の弁解の聴取

今読んだ内容について、間違っていることや分からないことがあったら、何でも遠慮なく言ってください。

8 観護措置をとらない場合

君を少年鑑別所に送致しないことにします。

今日は帰ってもらいます。

しかし、これで裁判所の手続が終わったわけではありません。

後日、調査や審判の呼出しがありますから、そのときは必ず裁判所に来てください。

9 観護措置をとる場合 (決定の告知等)

君を少年鑑別所に送致することにします。

少年鑑別所にいる期間は、通常、最長4週間です。なお、場合によっては、最長8週間まで更新されることがあります。

その間、少年鑑別所の技官や家庭裁判所調査官が君の性格、環境などに問題がないかどうか、あるとすれば何かといったことを知るため、心理テストや調査を行うこととなります。この調査等にはできる限り応じてください。

また、自分自身や生活面の問題点は何か、それをどのように直していくかについて、審判で裁判官に説明できるように考えを整理しておいてください。

10 少年鑑別所収容の通知の説明

君が少年鑑別所に収容されることは、君のお父さん、お母さんなどの保護者に通知します。

誰への通知を希望しますか。

その人の名前と住所及び君とその人との関係を教えてください。

11 ウィーン条約の説明

[二国間条約に基づく通報を行うこととされている場合を除く。]

[Véase: IV. (Notificación de los hechos del delito)]

7. Presentación de Objeciones por el Menor

Si hay algo que considere que no es correcto o que no comprenda sobre el contenido que se ha leído, no tenga reservas en mencionarlo.

8. En caso de tomar la medida de No Detención

Usted no será trasladado a la Casa de Clasificación de Menores.

Hoy puede regresar a su casa.

Sin embargo, no significa que haya finalizado el procedimiento judicial.

En los próximos días recibirá una citación para seguir con la investigación y la audiencia. Al recibirla, deberá presentarse indefectiblemente ante este Tribunal.

9. En caso de tomar la medida de Detención (Notificación de la Decisión)

Usted será trasladado a la Casa de Clasificación de Menores.

El período en que permanecerá en ella, normalmente es de un máximo de cuatro semanas. No obstante, según el caso, puede que se renueve el plazo hasta un máximo de ocho semanas.

Durante este período, los especialistas de la Casa de Clasificación de Menores y el Oficial de Prueba del Tribunal de Familia realizarán diversos exámenes psicológicos y averiguaciones a fin de conocer su personalidad, si existen problemas en su entorno, y si los hay, cuáles son. En lo posible, por favor responda a estas averiguaciones, etc.

Además, le solicitamos que organice sus pensamientos para poder explicarle al Juez durante la Audiencia acerca de Usted mismo, cuáles son sus problemas de la vida cotidiana, y cómo los podría ir corrigiendo.

10. Explicación acerca de la Notificación de Detención en la Casa de Clasificación de Menores

Su detención en la Casa de Clasificación de Menores será notificada a su padre, madre, u otra persona, quienes son sus tutores.

¿A quién desea que se notifique su detención?

Indique el nombre, domicilio, y su relación con esa persona.

11. Explicación sobre la Convención de Viena

[Se exceptúan los casos en que se establece que la notificación debe realizarse según un tratado bilateral.]

君の希望があれば、領事関係に関するウィーン条約に基づいて、君の国の駐日大使館などに通報します。

ただし、警察や検察官が通報していない場合に限りです。

通報を希望しますか。

なお、君の国の駐日大使館などに対しては、日本の法令に反しない限り、手紙を出すことができます。

第2 調査手続

1 前置き

私は、君の担当の家庭裁判所調査官の〇〇です。

君について、〇〇事件が検察官（警察）から家庭裁判所に送られてきました。

今日は、この事件のことや君のこれまでの生活、家族のことなどについて話を聴きたいと思います。

今日は、裁判所が選任した通訳人が通訳することになります。通訳人は、誠実に通訳することを宣誓しています。

私の質問の意味が分からない時は、何でも遠慮なく聞いてください。

2 少年の氏名などの確認

名前は何といいますか。

生年月日はいつですか。

国籍はどこですか。

日本ではどこに住んでいますか。

仕事は何をしていますか。

3 手続の説明

家庭裁判所では、本当に君に非行があるかどうかを確認します。

君に非行がある場合は、どうしてそういうことをしてしまったか、今後繰り返さないためにはどうしたらよいかということを考え、どのような指導や教育が

Si Usted lo desea, se puede notificar a la Embajada o representación consular de su país en Japón, a base de la Convención de Viena sobre Relaciones Consulares.

Sin embargo, esto se limita al caso en que la Policía o Fiscalía no lo haya hecho.
¿Desea que se realice la notificación a su Embajada o Consulado?

Por otra parte, Usted puede enviar una carta a la Embajada o Consulado de su país en Japón, siempre y cuando no viole las leyes y normativas de Japón.

II. Proceso de Investigación

1. Introducción

Yo soy _____, el Oficial de Prueba del Tribunal de Familia a cargo de su caso.

La Fiscalía (la Policía) nos ha enviado un reporte sobre Usted por el caso de _____.

En el día de hoy, queremos preguntarle acerca de este caso, de su vida cotidiana hasta el presente y sobre su familia.

En el día de hoy, un intérprete designado por el Tribunal traducirá sus declaraciones. El intérprete está bajo juramento para traducir fielmente lo que Usted diga.

Si hay algo de lo que estoy diciendo que Usted no comprenda, no tenga reserva alguna en preguntar.

2. Verificación del nombre y otros datos del Menor

¿Cuál es su nombre completo?

¿Cuál es su fecha de nacimiento?

¿Cuál es su nacionalidad?

¿Cuál es su domicilio en Japón?

¿Cuál es su ocupación?

3. Explicación acerca del procedimiento

El Tribunal de Familia verificará si Usted ha cometido realmente el delito.

Si se comprueba la veracidad del delito, vamos a investigar por qué lo ha cometido, y pensar qué se debe hacer para que no lo repita, y decidiremos las

必要かを考慮して最も適当な処分を決めています。

今日は、今回の事件の原因を君と一緒に考えたいと思います。

君から聴いた内容は、裁判官に報告します。

裁判官は、その内容を踏まえた上で、君の処分を決めます。

4 審判の説明

審判は、裁判の一種です。

審判は、原則として非公開で行うことになっています（が、この事件については、裁判所が被害者等に審判を傍聴することを許可しましたので〔被害者等から傍聴の申出が出ていますので、これを裁判所が許可すれば〕、被害者等が審判を傍聴することができます。傍聴が許されるのは、審判の様子を直接見聞きしてその状況を詳しく知りたいという被害者等の心情を尊重するためであることをよく理解してください。）。

審判廷には、裁判官のほか、家庭裁判所調査官、裁判所書記官、君、君の保護者、君の付添人などが出席します。

審判では、裁判官が君の名前、生年月日、職業、国籍、日本での住居などを確認します。

審判では、今回君がしたとされている非行の内容が告げられ、弁解の機会を与えられます。

君も、審判までに、今回の非行の原因や今後の生活などをよく考えておいてください（また、被害者等が審判の様子を傍聴していますが、落ち着いて自分の考えを話すようにしてください。）。

そして、審判の時には、君の考えていることを率直に話すようにしてください。

また、事実と違う点や納得できない点があれば、その機会に述べてください。

5 処分の説明

家庭裁判所の行う処分には、施設に入って生活指導などを受けるものとして少年院送致、児童自立支援施設送致及び児童養護施設送致があります。

medidas correctivas más adecuadas considerando la asesoría o educación necesarias.

Hoy deseamos reflexionar junto a Usted acerca de las causas que condujeron a este caso.

Todo lo que Usted declare será informado al Juez.

Basándose en este reporte, el Juez decidirá la medida correctiva más adecuada para Usted.

4. Explicación acerca de la Audiencia

La Audiencia es un tipo de Juicio.

La Audiencia no es de carácter público o abierto, y por tanto no se permite la presencia de personas del público. (Sin embargo, en este caso, el Tribunal ha autorizado que la/s víctima/s, etc. observen la Audiencia [la/s víctima/s han presentado una solicitud para observar la Audiencia, y si el Tribunal lo autoriza], las mismas podrán presenciar la Audiencia. Por favor comprenda que se permitió esta observación para respetar las emociones de la/s víctima/s, etc. quienes desean ver y escuchar directamente la Audiencia y conocer en detalle la situación).

En la Sala de Audiencia estarán presentes el Juez, el Oficial de Prueba del Tribunal de Familia, el Secretario Judicial del Tribunal, Usted, su/s Tutor/es y su Acompañante, entre otros.

Al inicio de la Audiencia, el Juez va a verificar su nombre, fecha de nacimiento, ocupación, nacionalidad, domicilio, etc.

Luego se leerá un acta que indica el contenido del delito que Usted ha cometido, y podrá presentar las objeciones en su defensa.

Se le recomienda que, antes de ir a la Audiencia, reflexione acerca de las causas de su delito y sobre cómo va a conducir su vida en el futuro en la sociedad. (Por otra parte, aunque la/s víctima/s, etc. se encuentran observando esta Audiencia, trate de expresar sus pensamientos de manera calmada).

En el día de la Audiencia declare honestamente todo lo que Usted piensa.

Si encuentra algo en lo que no esté de acuerdo o no concuerde con la realidad, tenga a bien señalarlo en esa oportunidad.

5. Explicación de las medidas correctivas

Entre las medidas correctivas que puede tomar el Tribunal de Familia, están las de ubicarlo en establecimientos correccionales, como la Escuela de Disciplina de Menores, en el Instituto de Asistencia a la Autonomía de Menores, o el Centro de Protección de Menores.

また、社会の中で保護観察官や保護司から指導を受ける保護観察もあります。

さらに、検察官送致とって、事件を刑事裁判に回して大人と同様に罰金や懲役という刑罰によって責任をとってもらおうようにすることもあります。

君が十分に反省しており、二度と非行を繰り返すおそれがないと思われる場合には、これらの処分を行わないで事件を終了させることもあります。

また、審判を開かずに今回の手続を終わらせることもあります。

そのほかに、試験観察という中間的な処分もあります。これは、最終的な処分を決める前に、一定の期間、君を適当な人の所に預けて補導してもらったり、家に帰って普通の社会生活をしたりする中で、君の行動や生活状況を観察し、その経過を見て、もう一度審判を開き、最終的な処分を決めるものです。

なお、家庭裁判所による処分がなくても、入国管理当局の判断で、国外退去などを命じられることがあります。

第3 審判手続

1 審判開始の宣言

今から、審判を開いて、君の処分を決めることにします。

今日の手続については、裁判所が選任した通訳人が通訳することになります。

通訳人は、誠実に通訳することを宣誓しています。

私の質問の意味が分からない時は、何でも遠慮なく聞いてください。

2 少年の氏名などの確認

名前は何といいますか。

生年月日はいつですか。

国籍はどこですか。

日本ではどこに住んでいますか。

仕事は何をしていますか。

3 黙秘権の告知

También existe un sistema de Libertad en Observación en donde podrá continuar normalmente con su vida cotidiana bajo la supervisión de un Oficial de Custodia que lo asesorará debidamente.

Además existe la posibilidad de que su caso sea elevado a la Fiscalía y Usted sea juzgado en un Tribunal Penal como un adulto. En tal caso deberá hacerse responsable de sus actos según una sentencia de multa o prisión.

En el caso de que Usted demuestre un completo arrepentimiento y existe plena seguridad de que no se volverá a repetir tal delito, el caso podría ser cerrado sin tomar ninguna medida correctiva.

También hay casos en que no se abre una Audiencia y se finalizan estos procedimientos.

Aparte de estas medidas, existe una medida correctiva intermedia, que es la Supervisión Probatoria Tentativa. Ésta consiste en dejarlo a Usted bajo el cuidado de una persona apropiada o regresarlo a su casa para que lleve una vida normal en la sociedad durante un período determinado, antes de decidirse una medida correctiva definitiva. Se observarán su conducta y situaciones de la vida cotidiana, comprobando su progreso, para luego abrir otra Audiencia y decidir la medida correctiva definitiva.

No obstante, aunque no se dicte la medida correctiva del Tribunal de Familia, Usted podría ser deportado de este país por orden de la Oficina de Inmigración.

III. Procedimiento en la Audiencia

1. Declaración de inicio de la Audiencia

A partir de este momento se dará inicio a esta Audiencia a fin de definir la medida correctiva para Usted.

Durante el procedimiento del día de hoy, un intérprete designado por el Tribunal traducirá sus declaraciones. El intérprete está bajo juramento para traducir fielmente lo que Usted diga.

Si hay algo de lo que estoy diciendo que Usted no comprenda, no tenga reserva alguna en preguntar.

2. Verificación del nombre y otros datos del Menor

- ¿Cuál es su nombre completo?
- ¿Cuál es su fecha de nacimiento?
- ¿Cuál es su nacionalidad?
- ¿Cuál es su domicilio en Japón?
- ¿Cuál es su ocupación?

3. Notificación del Derecho a No Declarar

これから君に質問をしていきますが、君はこれらに無理に答える必要はありません。黙っていてもそれだけで不利になることはありません。

言いたいことがあれば、何でも遠慮なく話してください。

ただし、君が話したことは、君にとって有利か不利かを問わず、証拠として使われることがあります。

4 被害者等の傍聴がある場合の説明

この事件では、被害者等が審判を傍聴しています。傍聴を許可したのは、審判の様子を直接見聞きしてその状況を詳しく知りたいという被害者等の心情を尊重したためです。被害者等が審判の様子を傍聴していますが、落ち着いて自分の考えを話すようにしてください。

5 非行事実の告知

これから、検察官（警察）から送られてきている事件の内容を読みます。よく聞いておいてください。

〔第4（非行事実の告知）参照〕

6 少年の弁解の聴取

今読んだ内容について、間違っていることや分からないことがあったら、何でも遠慮なく言ってください。

7 証人尋問手続

今から、あなたをこの事件の証人として尋問します。

まず、うそをつかないという宣誓をしていただきます。宣誓書の内容を読み上げてください。

（証人）「良心に従って、ほんとうのことを申します。知っていることをかくしたり、無いことを申したりなど、決して致しません。以上のとおり誓います。

証人〇〇」

では、宣誓書に署名押印してください。

証人は、今宣誓したように本当のことを証言してください。

Ahora le iré haciendo preguntas, pero Usted no tiene la obligación de responderlas. Aunque permanezca en silencio, no será una desventaja.

Si hay algo que quiera decir, no tenga reservas en hablar.

No obstante, todo lo que diga, más allá de que le sea beneficioso o no, podrá ser tomado como pruebas del caso.

4. Explicación en el caso de que la/s víctima/s, etc. estén observando la Audiencia

En este caso, la/s víctima/s, etc. están observando esta Audiencia. Se permitió esta observación para respetar las emociones de la/s víctima/s, etc. quienes desean ver y escuchar directamente la Audiencia y conocer en detalle la situación. Aunque la/s víctima/s, etc. se encuentran observando esta Audiencia, trate de expresar sus pensamientos de manera calmada.

5. Notificación de los hechos del delito

A partir de ahora vamos a leer el informe enviado por la Fiscalía (o la Policía) acerca del caso. Escuche con atención.

[Véase: IV. (Notificación de los hechos del delito)]

6. Presentación de Objeciones por el Menor

Si hay algo que considere que no es correcto o que no comprenda sobre el contenido que se ha leído, no tenga reservas en mencionarlo.

7. Procedimiento para interrogar a un testigo

A partir de este momento vamos a interrogarlo como Testigo de este caso.

Ante todo, hará el Juramento de que no va a mentir. Lea en voz alta el contenido de la Declaración de Juramento.

(Testigo) “Juro decir la verdad siguiendo mi conciencia. Me comprometo a no ocultar lo que sé ni declarar algo que no existe. De esta manera realizo mi Juramento. Testigo: _____.”

Ahora, ponga su firma y estampe su sello en la Declaración de Juramento.

Al Testigo le solicitamos que tenga a bien declarar la verdad tal como lo ha

宣誓の上でその証言をすると、偽証罪で処罰されることがあります。

証言することによって証人自身又は証人の近親者が刑事訴追を受けたり、有罪の判決を受けたりするおそれのある事柄については、証言を拒むことができます。その場合には、申し出てください。

〔証人尋問の実施〕

以上で証人尋問を終わります。

証人は、御苦労さまでした。

8 聴取の終了

これで話を聴くのを終わりにして、君に対する処分を決めることにします。最後に何か言っておきたいことがあれば言ってください。

9 調査官の意見陳述

既に提出している少年調査票記載の意見欄のとおりで、特に付け加えることはありません。

10 付添人の意見陳述

意見書のとおりで、特に付け加えることはありません。

11 決定などの告知及びその説明

それでは、今から君の処分を告知します。

〔第5（決定などの告知及びその説明）参照〕

12 抗告権の告知（保護処分に付された場合）

この決定に不服があるときは、君や君の法定代理人及び付添人は、抗告することができます。

抗告する場合には、2週間以内に、〇〇高等裁判所宛ての抗告の申立書をこの裁判所に出してください。

抗告の申立書は、少年院などの施設の長又はその代理者を通じて出すことができます。

13 ウィーン条約の説明（少年院送致や少年院への戻し収容の場合）

jurado hace unos momentos.

En caso de mentir en su testimonio estando bajo Juramento, podrá ser procesado por Falso Testimonio.

En el caso de que su testimonio pueda resultar perjudicial a Usted mismo o a sus familiares y/o allegados, podrá negarse a declarar. En tal caso indíquelo claramente al Tribunal.

[Se le hacen las preguntas al Testigo]

Finalizamos las preguntas al Testigo.

Al Testigo le agradecemos por su colaboración.

8. Finalización de la sesión de audiencia

Con esto finalizamos la sesión en donde se escuchó su historia, y decidiremos la medida correctiva para Usted. Si hay algo último que quiera decir, dígalo ahora.

9. Declaración de opiniones del Oficial de Prueba

Las opiniones son las mismas que se encuentran publicadas en el espacio para opiniones del Cuestionario al Menor, que ha sido entregado previamente, por lo tanto, no existe nada en especial a agregar.

10. Declaración de opiniones del Acompañante

Son las mismas que se encuentran en la hoja de opiniones, por lo tanto, no existe nada en especial a agregar.

11. Notificación de la Sentencia o Medida Judicial y su Explicación

Ahora vamos a dar conocimiento de la sentencia de su caso.

[Véase: V. (Notificación de la Sentencia o Medida Judicial y su Explicación)]

12. Notificación acerca del Derecho a Apelar (en caso de haberse tomado una medida correctiva)

En caso de haber objeciones a esta decisión, tanto Usted como su Representante Legal o su Acompañante pueden apelarla.

En caso de apelar, se deberá presentar a este Tribunal una Nota de Apelación dirigida al Tribunal Superior de _____, durante un plazo de 2 (dos) semanas.

La Nota de Apelación puede ser elevada a través del Director o Representante de la Escuela de Disciplina de Menores o la institución en que se encuentre internado o recluso.

13. Explicación sobre la Convención de Viena (en el caso de ser trasladado o recluso nuevamente en la Escuela de Disciplina de Menores)

[二国間条約に基づく通報を行うこととされている場合を除く。]

君の希望があれば、領事関係に関するウィーン条約に基づいて、君の国の駐日大使館などに通報します。

ただし、今までにこの事件で通報していない場合に限りです。

通報を希望しますか。

なお、君の国の駐日大使館などに対しては、日本の法令に反しない限り、手紙を出すことができます。

第4 非行事実の告知

1 窃盗罪（万引）の例

「君は、平成○年5月10日午後1時23分頃、東京都○○区○○町1丁目5番12号所在の株式会社○○店において、同店の店長であるAが管理していた万年筆5本（販売価格合計5万円）を盗んだものです。」

2 窃盗罪（バイク盗）の例

「君は、平成○年10月12日午後3時35分頃、東京都○○区○○町2丁目3番5号先路上において、Aが所有する第一種原動機付自転車1台（時価約15万円相当）を盗んだものです。」

3 遺失物等横領罪の例

「君は、平成○年7月21日午後9時30分頃、東京都○○区○○町5丁目3番4号所在の○○自転車置場において、その場所に放置されていたAが所有する自転車1台（時価約6000円相当）を発見し、これを自分の物にするつもりで拾得して横領したものです。」

4 傷害罪の例

「君は、平成○年1月15日午後10時30分頃、東京都○○区○○町1丁目6番15号先路上において、Aが君の身体にぶつかったことから口喧嘩し、腹を立てて、持っていた長さ約50センチメートルの木棒でAの頭部を5、6回

[Se exceptúan los casos en que se establece que la notificación debe realizarse según un tratado bilateral.]

Si Usted lo desea, se puede notificar a la Embajada o representación consular de su país en Japón, a base de la Convención de Viena sobre Relaciones Consulares.

Sin embargo, esto se limita al caso en que la Policía o Fiscalía no lo haya hecho hasta ahora.

¿Desea que se realice la notificación?

Por otra parte, Usted puede enviar una carta a la Embajada o Consulado de su país en Japón, siempre y cuando no viole las leyes y normativas de Japón.

IV. Notificación de los hechos del delito

1. Ejemplo de Hurto en Tiendas (Ratería)

“Alrededor de las 1:23 horas de la tarde del 10 de mayo de 20__, en la tienda denominada _____*Kabushikigaisha*, ubicada en ____-cho 1-chome 5-12, _____-ku, ciudad de Tokio, Usted robó 5 plumas estilográficas (plumafuentes), cuyo precio de venta es de un total en 50 mil yenes, que estaban a cargo de A, administrador de la tienda.”

2. Ejemplo de Hurto (de una motocicleta)

“Alrededor de las 3:35 horas de la tarde del 12 de octubre de 20__, en la calle cercana a ____-cho, 2-chome 3-5, ciudad de Tokio, Usted robó una motocicleta de Clase 1 perteneciente a A; una unidad (valuada en aproximadamente 150 mil yenes según precios corrientes).”

3. Ejemplo de Apropiación Ilícita de Artículos Perdidos

“Alrededor de las 9:30 horas de la noche del 21 de julio de 20__, en el estacionamiento para bicicletas _____ ubicado en ____-cho 5-chome 3-4, ____-ku, ciudad de Tokio, Usted encontró una bicicleta no vigilada perteneciente a A, una unidad (valuada en aproximadamente 6 mil yenes según precios corrientes), la cual se apropió indebidamente, con intención de adueñarse de ella.”

4. Ejemplo de Agresión Física

“Alrededor de las 10:30 horas de la noche del 15 de enero de 20__, en la calle cercana a ____-cho 1-chome 6-15, _____-ku, ciudad de Tokio, mientras Usted estaba caminando, A se chocó contra su cuerpo, lo que provocó insultos y gritos entre ambos que enardecieron los ánimos. Usted llevaba un palo de madera de unos 50 centímetros de largo, con el que golpeó fuertemente la cabeza de A unas

強く叩き、それによって、Aに対し、加療約3週間を要する前頭部裂傷の傷害を負わせたものです。」

5 強盗罪の例

「君は、生活費に困り、通行人からお金を奪い取ろうと考えて、平成○年6月13日午後10時30分頃、東京都○○区○○町3丁目1番12号先路上において、通りかかったA（当時18歳）を近くの路地に連れていき、Aに対し、持っていた登山ナイフを突きつけながら「金出せ。金出せ。」と言って脅迫し、Aが反抗できない状態にした上、Aの所有していた現金3万円を差し出させて奪い取ったものです。」

6 殺人罪の例（その1）

「君は、平成○年7月12日午後10時30分頃、東京都○○区○○町3丁目10番5号所在の平和住宅1号室において、君の長男A（当時生後1か月）の養育に疲れ、将来を悲観して、Aを殺そうと決意し、持っていたタオルでAの頸部を絞めつけるなどし、そのことによりAを窒息死させて殺害したものです。」

7 殺人罪の例（その2）

「君は、平成○年1月31日午後10時30分頃、東京都○○区○○町6丁目3番4号先路上において、A（当時19歳）から身体が触れたことで因縁をつけられ、突然腹部などを数回足蹴りするなどの暴行を加えられたことにかつとなり、とっさに、殺意をもって、持っていたナイフ（刃体の長さ約15センチメートル）で、Aの右胸部を数回突き刺し、右胸部に刺し傷を負わせ、間もなく、その場所において、その刺し傷による出血多量によりAを死亡させて殺害したものです。」

8 覚せい剤取締法違反罪の例

「君は、法定の除外事由がないのに、平成○年10月21日午後10時30分頃、東京都○○区○○町1丁目2番8号所在の平和住宅2号室において、フェニルメチルアミノプロパンの塩類若干量を含有する水溶液を、自分の身体に注

5 o 6 veces. Esto causó desgarros en la parte frontal de la cabeza de A, lesiones que requirieron aproximadamente 3 semanas de tratamiento médico”.

5. Ejemplo de Robo a Mano Armada

“Usted estaba necesitado de dinero para sus gastos cotidianos y decidió robarle dinero a algún transeúnte. A tal efecto, alrededor de las 10:30 horas de la noche del 13 de junio de 20__, en __-cho 3-chome 1-12, ___-ku, ciudad de Tokio, llevó a A (de 18 años en aquel entonces) a un callejón y sacando un cuchillo de montaña, emitió amenazas diciendo “カネダセ。カネダセ。” . De esta manera Usted hizo que A no pudiera resistirse a entregarle 30 mil yenes en efectivo, de los cuales se apoderó”.

6. Ejemplo de Homicidio (Caso 1)

“Alrededor de las 10:30 horas de la noche del 12 de julio de 20__, en la habitación 1 del Apartamento Heiwa Jyutaku sito en ___-cho 3-chome 10-5, ___-ku, ciudad de Tokio, cansado de la crianza de su hijo mayor A (de un mes de edad en ese entonces) y con pocas perspectivas acerca del futuro, decidió matar a A. Con una toalla que poseía apretó el cuello de A, provocándole asfixia, la cual le causó la muerte”.

7. Ejemplo de Homicidio (Caso 2)

“Alrededor de las 10:30 horas de la noche del 31 de enero de 20__, en la calle cercana a ___-cho, 6-chome 3-4, ___-ku, ciudad de Tokio, mientras caminaba, A (de 19 años en ese entonces) lo culpó de haberlo rozado y de repente le empezó a golpear y patear varias veces su vientre. Ante esta agresión, Usted se encolerizó y siendo consciente de que le podría provocar la muerte, tomó un cuchillo que portaba (de un filo de 15 centímetros de largo) y apuñaló a A varias veces en la parte derecha del pecho y el vientre, provocándole varias heridas cortantes en la parte derecha del pecho. Al poco tiempo, en el mismo lugar, A murió de una intensa hemorragia por las heridas cortantes causadas, lo que constituye su homicidio.”

8. Ejemplo de Violación de la Ley de Control de Drogas Estimulantes

“Alrededor de las 10:30 horas de la noche del día 21 de octubre de 20__, en la habitación 2 del Apartamento Heiwa Jyntaku, ubicado en _____-cho, 1-chome 2-8, ___-ku, ciudad de Tokio, Usted se inyectó en su brazo derecho, sin la debida autorización legal ni razón que lo justifique, una solución que contenía una pequeña cantidad de sales de fenil-metil-amino-propano, lo cual constituye uso de

射し、覚せい剤を使用したものです。」

9 毒物及び劇物取締法違反罪の例

「君は、平成○年5月12日午後10時30分頃、東京都○○区○○町2丁目3番5号先路上において、興奮、幻覚又は麻酔の作用を有する劇物で、政令で定められたトルエンを、みだりに吸入したものです。」

10 過失運転致傷罪の例

「君は、平成○年10月12日午後3時35分頃、東京都○○区○○町3丁目7番8号先路上において、普通乗用自動車を運転して○○区○○町方面から○○区○○町方面に向かい、時速約80キロメートルの速度で進行中、その場所の手前は左方にカーブして前方の見通しが困難であったので、あらかじめ減速し安全に走行できるようにハンドル、ブレーキなどを的確に操作して進行すべき運転者としての注意義務があったのに、これを怠り、先程の速度のまま的確なハンドル操作をせずに進行した過失により、自分の自動車を対向車線に進入させ、対向して進行してきたA（当時21歳）運転の普通乗用自動車の前部に自分の自動車の右前部を衝突させ、Aに全治約2か月間を要する右大腿骨骨折などの傷害を負わせたものです。」

11 道路交通法違反（無免許運転）の例

「君は、公安委員会の運転免許を受けないで、平成○年10月5日午後10時30分頃、東京都○○区○○町5丁目9番5号○○町交差点付近路上において、自動二輪車を運転したものです。」

12 道路交通法違反（速度違反）の例

「君は、平成○年2月13日午後10時30分頃、公安委員会が道路標識によって最高速度を時速40キロメートルと定めた東京都○○区○○町2丁目5番7号付近道路において、その最高速度を超える時速80キロメートルで普通乗用自動車を運転したものです。」

13 売春防止法違反の例

drogas estimulantes.”

9. Ejemplo de Violación de la Ley Sobre el Control de Sustancias Venenosas y Peligrosas

“Alrededor de las 10:30 horas de la noche del 12 de mayo de 20__, en la calle cercana a ___-cho, 2-chome 3-5, ___-ku, ciudad de Tokio, Usted se encontraba inhalando una sustancia venenosa y tóxica reglamentada por la ley, llamada tolueno, que posee un efecto estimulante, alucinógeno y anestésico.”

10. Ejemplo de Lesiones por Conducir un Vehículo Negligentemente

“Alrededor de las 3:35 horas de la tarde del 12 de octubre de 20__, en la calle cercana a ___-cho, 3-chome 7-8, ___-ku, ciudad de Tokio, Usted conducía su vehículo común desde ___-cho, ___-ku, en dirección hacia ___-cho, ___-ku, a una velocidad aproximada de 80 kilómetros por hora. La curva hacia la izquierda que estaba en frente suyo no le permitía ver más allá, por lo tanto Usted tenía la obligación como conductor de tomar precauciones, disminuyendo de antemano la velocidad y maniobrando prudentemente el volante o el freno para prevenir posibles accidentes. Sin embargo, Usted no cumplió con esta obligación y negligentemente mantuvo la misma velocidad sin maniobrar apropiadamente su volante, introduciéndose en el carril contrario de la ruta. En ese instante se produjo el impacto con el vehículo común que venía en dirección contraria conducido por A (de 21 años en ese entonces). El impacto se produjo entre la parte frontal derecha de su vehículo y todo el frente del vehículo contrario, por el cual el conductor A tuvo fracturas en el fémur derecho y otras lesiones, las cuales requirieron aproximadamente 2 meses de tratamiento médico hasta su recuperación completa.”

11. Ejemplo de Violación de la Ley de Tránsito (por Conducir sin Licencia)

“Alrededor de las 10:30 horas de la noche del 5 de octubre de 20__, en las cercanías del cruce de ___-cho, sito en ___-cho 5-chome 9-5, ___-ku, ciudad de Tokio, Usted estaba conduciendo, sin la debida licencia emitida por la Comisión de Seguridad Pública, una motocicleta mayor a 50 cc.”

12. Ejemplo de Violación de la Ley de Tránsito (por Exceso de Velocidad)

“Alrededor de las 10:30 horas de la noche del 13 de febrero de 20__, en una calle de los alrededores de ___-cho, 2-chome 5-7, ___-ku, ciudad de Tokio, donde la Comisión de Seguridad Pública ha establecido una velocidad máxima de 40 kilómetros por hora, la cual está indicada con una señal, Usted iba conduciendo su vehículo común a 80 kilómetros por hora, velocidad que excede el límite máximo establecido.”

13. Violación de la Ley contra la Prostitución

「君は、売春をする目的で、平成○年3月10日午後6時35分頃、東京都○○区○○町1丁目1番18号付近路上において、その場所を通行中のAに対し、「遊びませんか社長。ホテルいい3万円。」などと言って誘い、公衆の目に触れるような方法で人を売春の相手方となるよう勧誘したものです。」

14 出入国管理及び難民認定法違反の例

「君は、○○国国籍を有する外国人で、平成○年6月12日、○○国の政府が発行した旅券を持って、千葉県成田市にある新東京国際空港に上陸して日本の国に入ったものですが、在留期限は同年6月27日までであったのに、その日までに日本の国から出国せず、平成○年6月9日まで、東京都○○区○○町3丁目5番12号に住み、在留期間を経過して不法に日本の国に残留したものです。」

15 ぐ犯の例

「君は、○○国の養父母のもとで育ち、平成○年4月20日頃、出稼ぎのために来日し、その年の5月1日頃からストリップ劇場でダンサーとして働くようになりました。その後、同じような劇場数か所を転々とし、現在は、東京都○○区○○町2丁目3番8号所在の、暴力団○○組幹部で覚せい剤取締法違反の前科、前歴を有するA方のアパートに泊まり、A及びその仲間と共に無為徒食の生活を送っていました。そして、この間、君は、数十名の劇場の客や複数の暴力団組員と性的関係を持って小遣いをもらうなど、いかがわしい場所に入りするとともに、犯罪性のある人と交際しています。君の性格、環境に照らし、将来、売春防止法違反あるいは覚せい剤取締法違反の罪を犯すおそれがあるというのが事件の内容です。」

第5 決定などの告知及びその説明

1 保護観察決定などの告知及びその説明

(1) 保護観察決定の告知及びその説明

"Alrededor de las 6:35 horas de la tarde del día 10 de marzo de 20__, en la calle cercana a ____-cho 1 chome 1-18, ____-ku, ciudad de Tokio, con el objeto de prostituirse, Usted le dijo al transeúnte A: “アソビマセンカ シャチョウ。ホテルイイサンマンエン。” incitándolo en forma visible y pública para que fuera su cliente en la prostitución.”

14. Violación de la Ley de Control de Inmigración y Reconocimiento de Refugiados

“Siendo un extranjero de nacionalidad _____, Usted ingresó a Japón con un pasaporte expedido por el Gobierno de _____, a través del Nuevo Aeropuerto Internacional de Tokio, ubicado en Narita-shi, Prefectura de Chiba, el 12 de junio de 20__. A pesar de que la fecha de vencimiento para su estadía era el 27 de junio del mismo año, Usted no salió del país antes de esa fecha, y residió en ____-cho 3- chome 5-12, ____-ku, ciudad de Tokio hasta el 9 de junio de 20__, quedándose en Japón en forma ilegal luego de vencerse su permiso de estadía.”

15. Ejemplo de Pre-delincuencia

“Usted, quien fue criada por padres adoptivos del país _____, llegó a Japón alrededor del 20 de abril de 20__, con fines de trabajar. Alrededor del 1° de mayo del mismo año comenzó a trabajar como bailarina en un teatro de “striptease”. Luego, tuvo varios empleos en teatros similares, y actualmente tiene domicilio en ____-cho, 2-chome 3-8, ____-ku, ciudad de Tokio, en un apartamento que pertenece a A, que es uno de los jefes de la mafia del Grupo “_____” (*Boryokudan*) y quien posee antecedentes criminales por violar la Ley de Control de Drogas Estimulantes. Allí ha llevado una vida frívola y ociosa junto a A y sus compañeros de grupo. Y en varias oportunidades Usted mantuvo relaciones sexuales con una decena de clientes del teatro y varios miembros del grupo mafioso, recibiendo dinero por esos actos, frecuentando lugares de dudosa reputación y al mismo tiempo relacionándose con personas que tienen tendencia a delinquir. Teniendo en cuenta su personalidad y entorno, su caso constituye un riesgo a incurrir en delitos en el futuro, como violación de la Ley contra la Prostitución o la Ley de Control de Drogas Estimulantes”.

V. Notificación de la Sentencia o Medida Judicial y su Explicación

1. Notificación de la Decisión de ponerlo bajo Libertad en Observación, y otras medidas, y su Explicación

(1) Notificación de la Decisión de ponerlo bajo Libertad en Observación, y su

君を〇〇保護観察所の保護観察に付します。

保護観察では、社会生活をしながら、保護観察官や保護司の指導を受けることとなります。

(2) 交通短期保護観察の処遇勧告の告知及びその説明

君を交通保護観察に付します。ただし、保護観察所に対しては、短い期間で処遇が終わるようという勧告を付けておくこととします。

交通保護観察では、社会生活をしながら、保護観察官による指導を受けるほか、交通に関する講習を受けることとなります。

2 児童自立支援施設又は児童養護施設送致決定の告知及びその説明

君を児童自立支援施設（児童養護施設）に送致します。

君は児童自立支援施設（児童養護施設）に入所し、施設の職員から生活指導などを受けることとなります。

3 少年院送致決定などの告知及びその説明

(1) 少年院送致決定の告知及びその説明

君を第〇種少年院に送致します。

君は、少年院に収容され、生活指導などの矯正教育を受けることとなります。

(2) 処遇勧告の告知及びその説明

ア 短期間の処遇勧告の説明

少年院に対しては、短い期間で処遇を終えることが適当であるとの処遇勧告を付けておくこととします。

イ 特別短期間の処遇勧告の説明

少年院に対しては、特に短い期間で処遇を終えることが適当であるとの処遇勧告を付けておくこととします。

また、できる限り日課の一部を君に計画させ、実施させることなど開放的な教育を受けることができるよう求める勧告も付けておくこととします。

4 不処分決定の告知

Explicación

Usted quedará bajo Libertad en Observación supervisado por el Centro de Formación para los Liberados Condicionalmente de _____.

Durante la Libertad en Observación Usted podrá llevar su vida en la sociedad y será asesorado por el Oficial de Custodia y el Oficial Voluntario del Centro de Formación.

(2) Notificación del Programa de Corto Plazo para Infractores de Tránsito en Libertad en Observación, y su Explicación

Usted quedará bajo Libertad en Observación para Infractores de Tránsito. Sin embargo, recomendaremos al Centro de Formación para los Liberados Condicionalmente que finalice el tratamiento para Usted en un período corto.

Durante la Libertad en Observación para Infractores de Tránsito, será asesorado por el Oficial de Custodia y recibirá instrucción sobre tránsito, mientras lleva una vida en la sociedad.

2. Notificación de la Decisión de Traslado al Instituto de Asistencia a la Autonomía de Menores o al Centro de Protección de Menores, y su Explicación

Usted será trasladado al Instituto de Asistencia a la Autonomía de Menores (Centro de Protección de Menores).

Usted ingresará al Instituto de Asistencia a la Autonomía de Menores (Centro de Protección de Menores) y recibirá asesoramiento para su vida cotidiana por parte de los empleados del mismo.

3. Notificación de la Decisión de Traslado a la Escuela de Disciplina de Menores y otras medidas, y su Explicación

(1) Notificación de la Decisión de Traslado a la Escuela de Disciplina de Menores y su Explicación

Usted será trasladado a la Escuela de Disciplina de Menores Tipo _____.

Usted será recluso en la Escuela de Disciplina de Menores y recibirá una educación correctiva, como el asesoramiento para la vida cotidiana, entre otros.

(2) Notificación de la Recomendación sobre el Tratamiento de los Detenidos y su Explicación

i. Explicación sobre la Recomendación de Tratamiento Correccional de Corto Plazo

Recomendaremos a la Escuela de Disciplina de Menores que es apropiado completar su tratamiento en un período corto.

ii. Explicación sobre la Recomendación de Tratamiento Correccional durante un Período Especial

Recomendaremos a la Escuela de Disciplina de Menores que es apropiado completar su tratamiento en un período corto.

Además, recomendaremos que a Usted se le requiera planificar, dentro de lo posible, una parte de sus actividades diarias y realizarlas, para que reciba una educación con autonomía.

4. Notificación de la Decisión de No Aplicación de Medidas Correctivas

君を保護処分につさないことにします。

5 知事又は児童相談所長への送致決定の告知

君の事件を〇〇児童相談所長（〇〇知事）に送致します。

6 検察官送致決定の告知

君の事件を〇〇地方検察庁の検察官に送致します。

7 強制的措置許可決定の告知

君の事件を〇〇児童相談所長に送致します。

児童相談所長が、君に対し、平成〇年〇月〇日から、〇年間に、通算〇〇日を限度として、君の自由を制限する強制的な措置をとることを許可することとします。

8 強制的措置不許可決定の告知

児童相談所長が君に対して君の自由を制限するような強制的な措置をとることは、許可しないこととしました。

9 試験観察決定などの告知及びその説明

君を家庭裁判所調査官〇〇の観察に付します。

試験観察は、君に対する最終的な処分を決める前に、一定の期間、君を〇〇に預けて補導してもらいながら（家に帰って普通の社会生活をしながら）、君の行動や生活状況を観察し、その経過を見て、もう一度審判を開き、最終的な処分を決めるものです。

君に対し、試験観察中に守るべき事柄として、①・・・、②・・・を指示します。

10 没取決定の告知

押収してある〇〇を没取します。

11 訴訟費用負担決定の告知

家庭裁判所に送致される前の国選弁護費用として要した訴訟費用〇〇万円は君に負担させることにします。

Usted no será sentenciado a cumplir ninguna medida correctiva.

5. Notificación de la Decisión de enviar el caso al Gobernador o al Director del Centro de Asesoramiento de Menores

Su caso será enviado al Director del Centro de Asesoramiento de Menores _____, (Gobernador _____).

6. Notificación de la Decisión de enviar el caso a la Fiscalía

Su caso será enviado al Fiscal de la Fiscalía de Distrito _____.

7. Notificación de la Decisión de adoptar una Medida Compulsiva

Su caso será enviado al Director del Centro de Asesoramiento de Menores _____.

Este Tribunal de Familia aprueba que el Director del Centro de Asesoramiento de Menores tome una medida compulsiva restringiendo su libertad, a partir del día del mes de _____ de 20__, durante _____ años, sin que el plazo un total exceda los ____días.

8. Notificación de la Decisión de no adoptar una Medida Compulsiva

Este Tribunal de Familia ha decidido no aprobar que el Director del Centro de Asesoramiento de Menores tome una medida compulsiva para restringir su libertad.

9. Notificación de la Decisión de adoptar una Supervisión Probatoria Tentativa y su Explicación

Usted estará bajo la Supervisión Probatoria del Oficial de Prueba _____, del Tribunal de Familia.

La Supervisión Probatoria consiste en encargar su tutela a _____ durante un período determinado antes de decidir el tratamiento definitivo para Usted. Este tutor lo asesorará (mientras Usted lleva una vida normal en sociedad habiendo regresado a su casa), observará su comportamiento y situaciones de su vida cotidiana, y verá su progreso. Luego se abrirá nuevamente una Audiencia y se decidirá la medida correctiva definitiva.

Durante la Supervisión Probatoria, a Usted se le ordena cumplir con lo siguiente: ① . . . , ②

10. Notificación de la Decisión de Confiscación

El Tribunal de Familia decide confiscar los siguientes objetos incautados: _____.

11. Notificación de la Decisión de Pagar los Costos del Juicio

Usted deberá abonar __0.000 yenes, que incluyen los costos del juicio, tales como los honorarios del abogado estatal incurridos antes de que Usted fuera enviado al Tribunal de Familia.

12 戻し収容決定の告知

君を第○種少年院に戻して収容します。

13 収容継続決定の告知

君を平成○年○月○日まで第○種少年院に継続して収容します。

14 保護処分取消決定の告知

君に対する保護観察（児童自立支援施設送致，児童養護施設送致，少年院送致）
決定を取り消します。

15 施設送致決定の告知

〔前記 2（児童自立支援施設又は児童養護施設送致決定の告知及びその説明）
及び 3（少年院送致決定などの告知及びその説明）参照〕

12. Notificación de la Decisión de Regresar al Menor para Recluirlo en una Escuela de Disciplina de Menores

Usted será regresado y recluso en la Escuela de Disciplina de Menores Tipo _____.

13. Notificación de la Decisión de Continuar la Reclusión del Menor

Usted continuará recluso hasta el día ____ del mes de ____ de 20__ en la Escuela de Disciplina de Menores de tipo _____.

14. Notificación de la Decisión de Anular las Medidas Correctivas

Se anula la Decisión de ponerlo en Libertad en Observación (traslado al Instituto de Asistencia a la Autonomía de Menores, traslado al Centro de Protección de Menores, traslado a la Escuela de Disciplina de Menores).

15. Notificación de la Decisión de traslado a una Institución

[Véanse temas anteriores: Punto 2 (Notificación de la Decisión de Traslado al Instituto de Asistencia a la Autonomía de Menores o al Centro de Protección de Menores, y su Explicación), y Punto 3 (Notificación de la Decisión de Traslado a la Escuela de Disciplina de Menores y otras medidas, y su Explicación)]

第6 書式例

書式1 少年と保護者の皆さんへ（身柄事件用）

少年と保護者の皆さんへ

1. この度、少年は、（ ）保護事件について（ ）少年鑑別所へ送致されることになりました。少年に対しては、以後、原則として、次の手続で処分が決められます。
 - (1) 観護措置
少年鑑別所では、少年の身柄を確保し、併せて、少年の心身の鑑別を行います。ここでの収容期間は、通常、最大限4週間です。なお、場合によっては、最大限8週間まで更新されることがあります。
 - (2) 調査
(1)の鑑別と並行して、家庭裁判所調査官が少年に関する調査を行います。この調査の目的は、非行の原因、少年の性格や行動のみならず、家庭、学校、職場、友人関係などの環境等について調査し、少年に対して最も有効適切な処分は何かを明らかにすることです。
 - (3) 審判
(2)の調査が終わると、審判を開きます。審判は、裁判の一種ですが、非公開で、審判廷には少年、保護者（付添人があるときは付添人も）が出席します（場合により、学校の先生、保護司、検察官等も出席することがあります。）。
審判では、少年が非行を犯したかどうか、また、少年の性格、環境などに問題がないかどうかについて審理をし、家庭裁判所調査官の調査結果などを参考にして、裁判官が少年に対する処分を決めます。裁判官等から尋ねられたことについて、事実と違う点や納得のできない点があれば述べてください。また、調べてほしい証人や証拠があれば申し出ることもできます（裁判所で必要と認めるときは、取り調べます。）。
2. 家庭裁判所で行う主な処分は次のとおりです。
 - (1) 保護観察
通常、の社会生活を続けながら、保護観察所の保護観察官などの指導、監督を受けて、少年の改善、更生を図るものです。
 - (2) 児童自立支援施設又は児童養護施設送致
少年をこれらの施設に入所させて、必要な指導又は養護を行うものです。
 - (3) 少年院送致
少年を少年院に収容して、矯正教育を行うものです。
 - (4) 検察官送致
成人の場合と同様の手続による刑事裁判を受けさせるため、事件を検察官に送致するものです。
 - (5) 不処分
少年に非行がないときや、非行があっても何らの処分をするまでもないときになされるものです。
 - (6) 試験観察
(1)から(5)までの最終処分を決めるため、一定の期間、少年の行動、成績を観察するものです。試験観察の期間中、民間の施設等に少年を預けて指導してもらうこと（補導委託）もあります。
3. 少年や保護者には、次の権利などが認められています。
 - (1) 付添人選任権
少年及び保護者は、付添人を選任することができます。付添人は、家庭裁判所の審判の協力者であるとともに、刑事事件の弁護人に当たるものですが、弁護士に限らず、保護者や一般の人でも、裁判所の許可があれば、付添人となることができます。
 - (2) 黙秘権
少年は、裁判官などの質問に無理に答える必要はありません。ただし、裁判所は、少年が述べたことを参考にして、適切な処分を決めるわけですから、言いたいことは何でも正確に述べてください。
 - (3) 不服申立書
2の(1)から(3)までの決定に対して不服があれば、少年、法定代理人又は付添人は、2週間以内に高等裁判所に抗告の申立てをすることができます。
4. 以上のほか、分からないことがあれば、担当の書記官又は調査官に尋ねてください。

平成 年 月 日

家庭裁判所

支部

Formulario 1: Para el Menor y el Tutor (para casos de detención del Menor)

Para el Menor y el Tutor

1. En vista del caso de _____ el Menor será enviado a la Casa de Clasificación de Menores de _____. Según las normas, se tomarán las medidas pertinentes al Menor en base a los siguientes procedimientos.
 - (1) Medida de Detención
El Menor quedará detenido en la Casa de Clasificación de Menores en donde se realizará un examen psico-físico. El período máximo de detención es, en lo normal, de cuatro semanas. Según casos, puede que se renueve el plazo hasta un máximo de ocho semanas.
 - (2) Investigación
Paralelamente a la actividad (1), de clasificación del Menor detenido, el Oficial de Prueba del Tribunal de Familia realizará las investigaciones del caso, a fin de conocer las razones del delito. También se averiguará acerca del carácter y el comportamiento del Menor, el ambiente familiar, escolar, laboral, y las amistades. De esta manera se podrá dictaminar la medida educativa más adecuada para el Menor.
 - (3) Audiencia
Finalizada la Investigación (2) se abrirá una Audiencia. Esta Audiencia es un tipo de juicio pero de carácter no público. En la Audiencia participan el Menor y el Tutor (y el Acompañante si lo hay). (En algunos casos también participan el maestro de la escuela, el Oficial Voluntario para la Rehabilitación, el Fiscal, etc.)
En la Audiencia se examinará por qué el Menor cometió el delito, se estudiará el carácter y el ambiente en que se movía el Menor y se tomará como referencia el informe de investigación del Oficial de Prueba del Tribunal de Familia a fin de que el Juez pueda dictar las medidas correctivas. En caso de que haya alguna duda, error u objeción en las preguntas realizadas por el Juez u otra persona, por favor expréselo. También si existe la necesidad de investigar alguna prueba o citar a un testigo podrá solicitarlo (y si el Tribunal lo considera necesario podrá hacer las investigaciones del caso).
2. Principales sentencias del Tribunal de Familia:
 - (1) Libertad en Observación
Podrá seguir con las actividades cotidianas en la sociedad bajo el asesoramiento y dirección del Oficial de Custodia del Centro de Formación para los Liberados Condicionalmente para así reformarse y rehabilitarse adecuadamente.
 - (2) Envío al Instituto de Asistencia a la Autonomía de Menores o al Centro de Protección de Menores.
Se interna en estos establecimientos a fin de lograr una orientación o protección necesaria del Menor.
 - (3) Envío a la Escuela de Disciplina de Menores
Se interna en la Escuela de Disciplina de Menores para recibir una educación correctiva.
 - (4) Envío del caso al Fiscal
A fin de realizar un procedimiento penal de igual tratamiento que un adulto, se eleva el caso a la Fiscalía.
 - (5) No aplicación de medidas educativas
Cuando se comprueba la no existencia del delito o cuando su conducta delictiva no demuestra gravedad como para aplicarle una medida correctiva.
 - (6) Supervisión Probatoria Tentativa (por el Tribunal de Familia)
Es el período de observación para supervisor el comportamiento y desempeño del Menor hasta que le sea dictada la sentencia expuesta del (1) al (5). Durante este período puede estar bajo algún establecimiento privado (por Encargo para la Rehabilitación) a fin de recibir un asesoramiento adecuado.
3. Tanto para el Menor como para el Tutor se admiten los siguientes derechos, entre otros.
 - (1) Derecho a Nombrar un Acompañante
Tanto el Menor como el Tutor pueden nombrar a un Acompañante que hace de abogado defensor para casos de delitos penales, siendo a la vez cooperador para las Audiencias en el Tribunal de Familia. No es necesario que sea un abogado, sino cualquier persona o Tutor que el Tribunal autorice.
 - (2) Derecho a No Declarar
Al Menor no se le obliga a responder a las preguntas del Juez o de otras personas. Sin embargo, dado que el Tribunal dicta la sentencia en base a las declaraciones tomadas, es conveniente que diga con claridad si hay algo que desee expresar
 - (3) Presentación de una Apelación
Si existe insatisfacción acerca de las medidas tomadas del (1) al (3) del Punto 2, puede apelar. El Menor, el Representante Legal o el Acompañante pueden tramitar la apelación al Tribunal Superior dentro del término de dos semanas.
4. En caso de que no entienda algún punto expuesto, favor de consultar al Secretario Judicial u Oficial de Prueba del Tribunal.

Fecha: ___ de ___ de 20__

OFICINA DISTRITAL DE _____ DEL TRIBUNAL DE FAMILIA DE _____

書式2 少年と保護者の皆さんへ（在宅事件用）

少年と保護者の皆さんへ

1. この度、少年は、（ ）保護事件について家庭裁判所で審判を受けることになりました。
審判は、裁判の一種ですが、非公開で、審判廷には少年、保護者（付添人があるときは付添人も）が出席します（場合により、学校の先生、保護司、検察官等も出席することがあります。）。審判では、少年が非行を犯したかどうか、また、少年の性格、環境などに問題がないかどうかについて審理をし、家庭裁判所調査官の調査結果などを参考にして、裁判官が少年に対する処分を決めます。
裁判官等から尋ねられたことについて、事実と違う点や納得のいかない点があれば述べてください。また、調べてほしい証人や証拠があれば申し出ることもできます（裁判所で必要と認めたときは、取り調べます。）。
 - (1) 保護観察
通常の世界生活を続けながら、保護観察所の保護観察官などの指導、監督を受けて、少年の改善、更生を図るものです。
 - (2) 児童自立支援施設又は児童養護施設送致
少年をこれらの施設に入所させて、必要な指導又は養護を行うものです。
 - (3) 少年院送致
少年を少年院に収容して、矯正教育を行うものです。
 - (4) 検察官送致
成人の場合と同様の手続による刑事裁判を受けさせるため、事件を検察官に送致するものです。
 - (5) 不処分
少年に非行がないときや、非行があっても何らの処分をするまでもないときになされるものです。
 - (6) 試験観察
(1) から (5) までの最終処分を決めるため、一定の期間、少年の行動、成績を観察するものです。試験観察の期間中、民間の施設等に少年を預けて補導してもらうこと（補導委託）もあります。
2. 家庭裁判所で行う主な処分は次のとおりです。
 - (1) 付添人選任権
少年及び保護者は、付添人を選任することができます。付添人は、家庭裁判所の審判の協力者であるとともに、刑事事件の弁護人に当たるものですが、弁護士に限らず、保護者や一般の人でも、裁判所の許可があれば、付添人となることができます。
 - (2) 黙秘権
少年は、裁判官などの質問に無理に答える必要はありません。ただし、裁判所は、少年が述べたことを参考にして、適切な処分を決めるわけですから、言いたいことは何でも正確に述べてください。
 - (3) 不服申立書
2の(1)から(3)までの決定に対して不服があれば、少年、法定代理人又は付添人は、2週間以内に高等裁判所に抗告の申立てをすることができます。
3. 少年や保護者には、次の権利などが認められています。
 - (1) 付添人選任権
少年及び保護者は、付添人を選任することができます。付添人は、家庭裁判所の審判の協力者であるとともに、刑事事件の弁護人に当たるものですが、弁護士に限らず、保護者や一般の人でも、裁判所の許可があれば、付添人となることができます。
 - (2) 黙秘権
少年は、裁判官などの質問に無理に答える必要はありません。ただし、裁判所は、少年が述べたことを参考にして、適切な処分を決めるわけですから、言いたいことは何でも正確に述べてください。
 - (3) 不服申立書
2の(1)から(3)までの決定に対して不服があれば、少年、法定代理人又は付添人は、2週間以内に高等裁判所に抗告の申立てをすることができます。
4. 以上のほか、分からないことがあれば、担当の書記官又は調査官に尋ねてください。

平成 年 月 日

家庭裁判所

支部

Formulario 2: Para el Menor y el Tutor (para el Menor no detenido)

Para el Menor y el Tutor

1. En vista del caso de _____, el Menor será enviado al Tribunal de Familia para ser procesado en una Audiencia.

Esta Audiencia es un tipo de juicio pero de carácter no público. En la Audiencia participan el Menor y el Tutor (el Acompañante si lo hay). (En algunos casos también participan el maestro de la escuela, el Oficial Voluntario para la Rehabilitación, el Fiscal, etc.). En la Audiencia se examinará por qué el Menor cometió el delito, se estudiará el carácter y el ambiente en que se movía el Menor y se tomará como referencia el informe de investigación del Oficial de Prueba del Tribunal de Familia a fin de que el Juez pueda dictar las medidas correctivas.

En caso de que haya alguna duda, error u objeción en las preguntas realizadas por el Juez u otra persona, podrá expresarlo. También si existe la necesidad de investigar alguna prueba o citar a un testigo podrá solicitarlo (y si el Tribunal lo considera necesario podrá hacer las investigaciones del caso).

2. Principales sentencias del Tribunal de Familia:

(1) Libertad en Observación

Podrá seguir con las actividades cotidianas en la sociedad bajo el asesoramiento y dirección del Oficial de Custodia del Centro de Formación para los Liberados Condicionalmente para así reformarse y rehabilitarse adecuadamente.

(2) Envío al Instituto de Asistencia a la Autonomía de Menores o al Centro de Protección de Menores.

Se interna en estos establecimientos a fin de lograr una orientación o protección necesaria del Menor.

(3) Envío a la Escuela de Disciplina de Menores

Se interna en la Escuela de Disciplina de Menores para recibir una educación correctiva.

(4) Envío del caso al Fiscal

A fin de realizar un procedimiento penal de igual tratamiento que un adulto, se eleva el caso a la Fiscalía.

(5) No aplicación de medidas educativas

Cuando se comprueba la no existencia del delito o cuando su conducta delictiva no demuestra gravedad como para aplicarle una medida correctiva.

(6) Supervisión Probatoria Tentativa (por el Tribunal de Familia)

Es el período de observación para supervisor el comportamiento y desempeño del Menor hasta que le sea dictada la sentencia expuesta del (1) al (5). Durante este período puede estar bajo algún establecimiento privado (por Encargo para la Rehabilitación) a fin de recibir un asesoramiento adecuado.

3. Tanto para el Menor como para el Tutor se admiten los siguientes derechos, entre otros.

(1) Derecho a Nombrar un Acompañante

Tanto el Menor como el Tutor pueden nombrar a un Acompañante que hace de abogado defensor para casos de delitos penales, siendo a la vez cooperador para las Audiencias en el Tribunal de Familia. No es necesario que sea un abogado, sino cualquier persona o Tutor que el Tribunal autorice.

(2) Derecho a No Declarar

Al Menor no se le obliga a responder a las preguntas del Juez o de otras personas. Sin embargo, dado que el Tribunal dicta la sentencia en base a las declaraciones tomadas, es conveniente que diga con claridad si hay algo que desee expresar

(3) Presentación de una Apelación

Si existe insatisfacción acerca de las medidas tomadas del (1) al (3) del Punto 2, puede apelar. El Menor, el Representante Legal o el Acompañante pueden tramitar la apelación al Tribunal Superior dentro del término de dos semanas.

4. En caso de que no entienda algún punto expuesto, favor de consultar al Secretario Judicial u Oficial de Prueba del Tribunal.

Fecha: ___ de ___ de 20__

OFICINA DISTRITAL DE _____ DEL TRIBUNAL DE FAMILIA DE _____

書式 3 審判期日通知書

| | |
|---|--|
| 平成 年 第 少年 第 号 | 保護事件 |
| <p style="text-align: center;"><u>審判期日通知書</u></p> <p>少年 <u> </u> 殿</p> <p>保護者 <u> </u> 殿</p> <p>上記少年に対する保護事件の審判が開かれることになりましたから、少年と保護者の方は一緒にこの書面を持って、</p> <p style="text-align: center;">平成 年 月 日 午前 午後 時 分</p> <hr/> <p>に当裁判所に出頭してください。</p> <p>(注意) この期日に出頭できないときは、その理由を詳しく書いた書面を必ず下記裁判所書記官あて至急送ってください。</p> <p style="text-align: center;">平成 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">家庭裁判所 裁判所書記官</p> | (備考) |
| | <p>家庭裁判所</p> <p>電話 () (代表)</p> <p>内線 番</p> |

Formulario 3: Notificación de la Fecha de la Audiencia

AÑO 20____ Sho Nro.____ CASO Menor:_____

NOTIFICACIÓN DE LE FECHA DE LA AUDIENCIA

AL MENOR: _____

AL TUTOR: _____

En vista de que se ha confirmado la Audiencia para procesar al Menor arriba mencionado, se solicita que el Menor y el Tutor se presenten en este Tribunal junto a esta Notificación el día de ____ de 20____, a las ____: ____ horas de la mañana/tarde.

NOTA: En caso de que no pueda asistir el día notificado, deberá enviar inmediatamente y sin falta al Secretario Judicial del Tribunal una nota en la que explique detalladamente las razones.

Fecha: ____ de ____ de 20____

TRIBUNAL DE FAMILIA DE _____

SECRETARIO JUDICIAL: _____

(OBSERVACIONES)

TRIBUNAL DE FAMILIA DE _____

Tel.

Extensión.

書式 4 呼出状

平成 年 少年第 号

呼 出 状

少年 殿

保護者 殿

少年

年 月 日生

住居

上記少年に対する保護事件の審判を、きたる 月 日 午前 時行います
ので に出頭して下さい。

なお、正当な理由がないのにこの呼出しに応じないと同行状を発することがあります。

平成 年 月 日

家庭裁判所

裁判官

- 注意 1 当日は認印を持参し、この呼出状を当庁書記官室に差し出して下さい。
2 病气その他で出頭できないときは、必ず電話、手紙などで当庁書記官室に連絡して下さい。

Formulario 4: Cédula de Citación

AÑO 20_____ Sho Nro. _____

CÉDULA DE CITACIÓN

AL MENOR: _____

AL TUTOR: _____

Nombre del Menor:

Fecha de Nacimiento: ___ de ___ de 20__

DOMICILIO:

El día ___ de ___ de 20__, a las ___:___ horas de la mañana/tarde se realizará la audiencia judicial del Menor arriba mencionado. Por tal motivo se ruega presentarse en _____.

En caso de no presentarse sin una justificada razón se expedirá una Orden Judicial de Presentación Obligatoria en la que será exigida la presencia del Menor.

Fecha: _____ de _____ de 20__

TRIBUNAL DE FAMILIA DE _____

Juez a cargo: _____

Nota 1: El día citado, preséntese con su sello personal y entregue esta CÉDULA DE CITACIÓN en la Oficina del Secretario Judicial.

Nota 2: En caso de enfermedad o alguna razón que impida presentarse deberá notificarlo sin falta por correspondencia o teléfono a la Oficina del Secretario Judicial.

Formulario 5: Cédula de Citación (para investigación)

AÑO 20__ Sho Nro. _____ Caso tipificado: _____

Cédula de Citación (para investigación)

AL MENOR: _____

AL TUTOR: _____

A fin de realizar las investigaciones pertinentes al caso, el Menor y el Tutor deberán presentarse el día ___ de ____ de 20__, a las __: __ horas de la mañana/tarde en la Oficina del Oficial de Prueba, que queda en el piso del Tribunal de Familia.

Fecha: _____ de _____ de 20__

TRIBUNAL DE FAMILIA DE _____

Oficial de Prueba del Tribunal de Familia: _____

OBSERVACIONES:

1. El caso fue investigado por la Comisaría de _____, el día de ___ de 20__.
_____ 20__.
2. En caso de que el Menor o el Tutor no puedan concurrir el día citado por razones de enfermedad, ausencia u otra circunstancia, deberá notificarlo al Oficial de Prueba del Tribunal de Familia.
3. El día citado, deberá concurrir trayendo sin falta lo siguiente: _____.

Tribunal de Familia de _____

Tel. _____

Ext. _____

書式 6 同行状（緊急）

| | |
|--|--|
| 平成 年 (少) 第 号 | 執行指揮印 |
| <h2 style="margin: 0;">同行状（緊急）</h2> | |
| 少年 _____ 年 _____ 月 _____ 日生 | |
| 住居 _____ | |
| <p>上記少年の _____ 保護事件について、下記の理由により、少年を当裁判所へ同行する。</p> <p style="text-align: center;">有効期間 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 まで</p> <p style="text-align: center;">この令状は上記期間経過後はその執行に着手することができない。 この場合には本令状を裁判所へ返還しなければならない。</p> <p style="text-align: center;">平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日</p> <p style="text-align: center;">家庭裁判所 裁 判 官</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>(審判に付すべき事由) _____ 別紙記載のとおり (緊急同行状を発付する理由) _____ 別紙記載のとおり (適条) _____ 少年法 12 条 1 項 (参考)</p> <p>1 予想される少年の立ち回り先 _____</p> <p>2 本同行状は、 _____ 警察署宛に発付</p> | |
| 執行した日時 | 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 午前・午後 _____ 時 _____ 分 |
| 執行した場所 | |
| 執行することができなかったときはその理由 | _____ |
| 所 属 ・ 官 職 | 氏名 _____ 印 _____ |
| 同行された日時 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 午前・午後 _____ 時 _____ 分 | |
| 裁判所書記官 | |

Formulario 6: Orden Judicial para llevar a un Menor a la Corte (Urgente)

| | |
|---|--|
| AÑO 20____ Sho Nro. _____ | Sello Emerg.Ej. |
| <h2 style="margin: 0;">ORDEN JUDICIAL PARA LLEVAR A UN MENOR A LA CORTE (URGENTE)</h2> | |
| Menor: _____ Nacido el: ____ de ____ de 20__ Domicilio: _____ _____ | |
| Por el caso de _____ del Menor arriba mencionado y por las razones escritas aquí abajo, el Menor será escoltado a este Tribunal de Familia. | |
| Fecha de ejecución hasta el: ____ de ____ de 20____ Esta Orden Judicial no podrá ser ejecutada después de la fecha indicada. En tal caso, la Orden queda sin validez y deberá ser devuelta al Tribunal. | |
| Fecha: ____ de ____ de 20__ | |
| TRIBUNAL DE FAMILIA DE: _____ | |
| JUEZ A CARGO: _____ | |
| <p style="text-align: center;">NOTAS</p> (CASO QUE SE DEBE SOMETER AL JUICIO) Tal como figura en la hoja adjunta (RAZÓN POR LA QUE SE EXPIDE ESTA ORDEN) Tal como figura en la hoja adjunta (ARTÍCULOS APLICABLES) Ley de Menores Artículo 12, Inciso 1 (REFERENCIA) | |
| 1. Lugares en que se prevé que se encuentra el Menor _____ | |
| 2. Esta Orden se le expide a la Comisaría de: _____ | |
| Fecha de ejecución | El día ____ de ____ de 20____; a las ____:____, mañana/tarde |
| Lugar de ejecución | _____ |
| En caso de no ser ejecutado, indique las razones: | _____ _____ |
| Cargo y dependencia del Oficial: | |
| Nombre: _____ Sello: _____ | |
| Fecha del traslado: El día ____ de ____ de 20____; a las ____:____ horas, mañana/tarde | |
| Secretario Judicial del Tribunal: _____ | |

書式 7 観護措置通知書

平成 年 少年第 号 保 護 事 件

観護措置通知書

殿

少年

年 月 日生

上記少年に対する保護事件について、審判を行うための必要上、少年は、平成 年 月 日 少年鑑別所に収容されたから通知する。

平成 年 月 日

家 庭 裁 判 所

裁 判 所 書 記 官

Formulario 7: Notificación de Detención Preventiva

AÑO 20_____ Sho Nro._____ Caso de Protección:_____

NOTIFICACIÓN DE DETENCIÓN PREVENTIVA

Atención:_____

Nombre del Menor:_____

Fecha de Nacimiento: ___ de ___ de 20___

Por el caso del Menor arriba mencionado, con el objeto de realizar la Audiencia en el Tribunal, el Menor será detenido y trasladado a la Casa de Clasificación de Menores el día ___ de ___ de 20___.

Fecha : _____ de ___ de 20_____

TRIBUNAL DE FAMILIA DE _____

SECRETARIO JUDICIAL: _____

平成

年(少)第

号

付 添 人 選 任 届

家庭裁判所 御中

少年

に対する

保護事件について

弁護士

を付添人に選任いたしましたから連署の上お

届けいたします。

平成 年 月 日

選任者(少年保護者)

付添人住所

付 添 人

(注) 選任者()内は該当するものに○印をつける。

Formulario 8: Notificación del Nombramiento de un Acompañante
AÑO 20_____ Sho Nro. _____

NOTIFICACIÓN DEL NOMBRAMIENTO DE UN ACOMPAÑANTE

Sres. TRIBUNAL DE FAMILIA DE: _____

Por el caso _____ del Menor _____,
notificamos que se ha nombrado como Acompañante
al abogado _____.

Fecha: _____ de _____ de 20 _____

Designado por el MENOR / el TUTOR.
(marque la opción que corresponda)

Nombre del Nominador: _____

Domicilio del Acompañante: _____

Nombre del Acompañante: _____

書式 9 付添人選任に関する通知及び照会

(法 22 条の 3 第 1 項, 規 30 条の 3 第 1 項)

平成 年(少)第 号

付添人選任に関する通知及び照会

少年 殿

保護事件名

あなたの事件では、慎重に手続きを進めるため、弁護士である付添人がいなければ審判できません。

あなたやあなたの家族が弁護士である付添人を選任しないときは、裁判所が弁護士である付添人を選任します。

そこで、同封した回答書に答えて書いて、 月 日までに 家庭裁判所に着くように送ってください。あなたが少年鑑別所にいるときは、鑑別所の先生に渡してください。

平成 年 月 日

家庭裁判所 (担当者)

電話 内線 番

Formulario 9: Notificación y Solicitud de Contestación sobre
el Nombramiento de un Acompañante

(Ley Artículo 22-3, inciso 1, Reg. Art. 30-3, Inciso 1)

AÑO 20_____ Sho Nro. _____

**NOTIFICACIÓN Y SOLICITUD DE
CONTESTACIÓN SOBRE EL NOMBRAMIENTO
DE UN ACOMPAÑANTE**

MENOR: Sr/a. _____

CASO: _____

En el caso en que Usted está involucrado, no se puede celebrar la Audiencia sin un Acompañante que le sirva de abogado defensor, para proceder con prudencia.

Si Usted y/o su familia no nombran a un Acompañante que le sirva de abogado defensor, el Tribunal lo hará por Usted.

Haga el favor de completar el Formulario de Contestación adjunto a esta notificación y envíelo al Tribunal de Familia de _____, de modo que llegue antes del día ____ de _____. Si Usted se encuentra en una Casa de Clasificación de Menores, entregue el formulario completo al maestro de dicha institución.

_____ de ____ de 20_____

Tribunal de Familia: _____(Encargado: _____)

Teléfono: _____(Extensión: _____)

書式 10 付添人選任に関する回答書

(法 22 条の 3 第 1 項, 規 30 条の 3 第 1 項)

平成 年(少)第 号

付添人選任に関する回答書

家庭裁判所 御中

保護事件について, 次のとおり回答します。

※ レ印を付けてください。

- 私か私の家族が弁護士である付添人をつけます
付添人の名前は, (弁護士会) です。
(分かれば書いてください。)
- 裁判所で弁護士である付添人をつけてください。

平成 年 月 日

少年 印

Formulario 10: Contestación sobre el Nombramiento de un
Acompañante

(Artículo 22-3, Inciso 1 de la Ley; Artículo 30-3, Inciso 1 de la Reglamentación)

AÑO 20_____ Sho Nro. _____

**CONTESTACIÓN SOBRE EL NOMBRAMIENTO
DE UN ACOMPAÑANTE**

PARA: el Tribunal de Familia de

Contesto lo siguiente en referencia al Caso de _____.

*Marque con lo que corresponda.

Mi familia o yo nombramos un acompañante que servirá como abogado defensor.

El nombre del acompañante es: _____,
(Colegio de Abogados de _____).

(Escriba si conoce este dato.)

Pido al Tribunal que nombre un acompañante que servirá como abogado defensor.

_____ de ____ de 20____.
Nombre del Menor: _____ (Sello)

書式 11 決定通知書（審判不開始決定）

決 定 通 知 書

少 年 殿

(保護者) 殿

平成 年 月 日

家庭裁判所

裁判所書記官

少年に対する平成 年少第 号 保護事件について
は、調査の結果、本日 裁判官の決定により少年法第 19 条 1 項を適用し、こ
の事件については審判を開始しないで事件を終わらせることになりました。

この決定は、少年自身の自覚により再非行のないことを期待して行われたものですから再
び過ちを犯さないよう心がけてください。

Formulario 11: Notificación de la Decisión Judicial
(Decisión de Sobreseimiento)

AÑO 20_____ Sho Nro. _____

NOTIFICACIÓN DE LA DECISIÓN JUDICIAL

AL MENOR: _____

AL TUTOR: _____

Fecha: _____ de _____ de 20 _____

TRIBUNAL DE FAMILIA DE _____

SECRETARIO JUDICIAL: _____

Como resultado de las investigaciones realizadas en el caso del Menor sobre _____, Sho. Nro. _____, del año 20 __, el Juez _____ determina, según lo establece el artículo 19 párrafo 1 de la Ley de Menores, el sobreseimiento del caso, sin dar inicio a la audiencia.

Esta decisión se ha tomado considerando que el Menor muestra arrepentimiento y en la esperanza de que no va a reincidir en un nuevo acto de delincuencia. Que el Menor procure no cometer errores nuevamente.

平成 年 少年第 号

証人召喚状

証人 殿

少年

上記少年に対する 保護事件について、あなたを証人としてお尋ねしますから、来る 月 日 午前 時 分に当裁判所少年審判廷（階）に出頭してください。

平成 年 月 日

家庭裁判所
裁判官

- 注 1 出頭の際は、印鑑を持参し、この召喚状を差し出してください。出頭したときは、旅費、日当を請求することができます。
- 注 2 正当な理由がないのに出頭しないときは、勾引されたり、科料又は罰金、もしくは拘留に処せられたりすることがあります。

Formulario 12: Citación Judicial a un Testigo

AÑO 20_____ Sho Nro. _____

CITACIÓN JUDICIAL A UN TESTIGO

AL TESTIGO, Sr/a.: _____

Nombre del Menor: _____

Por el caso de _____ del Menor arriba mencionado, requerimos su presencia como testigo. Para tal efecto, deberá presentarse el día _____ de ____ de 20_____, a las ____: ____ horas de la mañana/tarde en la Sala de Audiencia de Menores de este Tribunal (piso_____).

Fecha: _____ de ____ de 20_____

TRIBUNAL DE FAMILIA DE _____

JUEZ A CARGO: _____

Nota 1. En el momento de presentarse deberá traer su sello y entregar esta Citación. Usted puede reclamar los gastos de transporte y la compensación del día.

Nota 2. En caso de no presentarse sin justificación alguna, podrá ser llevado a la fuerza, multado (con multa menor o mayor), o arrestado y detenido.

書式 13 証人等整理票

家庭裁判所

| 証人等整理票 | | 平成 | 年 | 月 | 日 |
|--------|---|------|-----|---|---|
| 氏名 | 印 | 事件番号 | 年少第 | 号 | |
| 年齢 | 年号を○で囲んでください。 昭和 年 月 日生 (年) 大正 明治 | 事件名 | | | |
| 職業 | | 少年氏名 | | | |
| 住居 | | 備考 | | | 該当するものを○で囲んでください。 証人 参考人 通訳人 鑑定人 その他 () |
| 旅費日当 | いずれかを○で囲んでください。 請求する 請求しない | | | | |

- (注) 1 出頭された方は、この整理票に記入の上、係事務官に提出してください。
 2 この整理票は、旅費日当請求書の資料あるいは旅費日当の放棄書として使用しますので、正確に記入してください。

Formulario 13: Ficha del Testigo

TRIBUNAL DE FAMILIA DE _____

| FICHA DEL TESTIGO _____, | | | |
|--------------------------|---|------------------|--|
| _____ de _____ de 20____ | | | |
| NOMBRE | Sello | Número del CASO | Año 20____ Sho Nro. |
| EDAD | Fecha de nacimiento: _____ de ____ de 19____ (_____ años) | CASO tipificado | |
| OCUPACIÓN | | NOMBRE DEL MENOR | |
| DOMICILIO | | OBSERVACIONES | Marque el que corresponda: <input type="checkbox"/> Testigo <input type="checkbox"/> Testigo de referencia <input type="checkbox"/> Intérprete <input type="checkbox"/> Perito <input type="checkbox"/> Otro (_____) |
| VIÁTICOS Y COMPENSACIÓN | (Marque con un círculo) Reclamo. No reclamo. | | |

Nota1. Quien se presenta al Tribunal, deberá llenar esta Ficha y entregarla al Oficial Administrativo de la Corte.

Nota 2. Llene y marque correctamente esta Ficha, pues sirve de comprobante como factura de viáticos (gastos de transporte) y la compensación del día. En caso de que no reclame viáticos y compensación, se archivará esta Ficha como documento que lo comprueba.

宣 誓 書

良^り心^{ょう}に^{しん}従^{したが}って、ほんとうの^{もう}ことを申^{もう}します。

知^しっていることをかくしたり、無^ないことを

申^{もう}したりなど、決^{けつ}して致^{いた}しません。

以^い上^{じょう}のとおり誓^{ちか}います。

しやうにん

証 人

Formulario 14: Juramento

JURAMENTO

Juro Decir, de Acuerdo a mi Conciencia, la Verdad, no
Ocultar lo que Sé, ni Decir Nada que no Exista.

Testigo: _____

書式 15 通報の要請に関する照会

通報の要請に関する照会

あなたは、国民として領事関係に関
するウィーン条約第 36 項第 1 項 (b) の規定に基づき、拘禁された事実を
の領事機関に通報することを要請することが
できます。

要請するかどうかを回答書に記入してください。

なお、当該領事機関に対しては、我が国の法令に反しない限り、信書を発
することができます。

裁 判 所

回 答

通報することを 要請します。
 要請しません。

年 月 日

国 名

被拘禁者氏名

裁判所

御中

(注) 不用の文字を抹消すること。

Formulario 15: Solicitud para la Notificación al Consulado

SOLICITUD PARA LA NOTIFICACIÓN AL CONSULADO

Según lo establece el Artículo 36, párrafo 1 (b) de la Convención de Viena sobre Relaciones Consulares, Usted, como ciudadano de _____, puede notificar su situación de detención al Consulado de _____.

Por favor indique si desea o no la notificación, completando los datos solicitados.

También puede enviar una carta al Consulado respectivo, siempre y cuando no viole las normativas o leyes japonesas.

RESPUESTA

(TACHE LO QUE NO CORRESPONDA)

LA ACCIÓN DE NOTIFICACIÓN

LA SOLICITO

NO LA SOLICITO

Fecha: _____ de _____ de 20_____

Nombre del país: _____

Nombre del Detenido: _____

DIRIGIDO AL TRIBUNAL DE: _____.

第4編 用語の対訳

第1 法律関係用語

| | |
|----------|---|
| 〔あ行〕 | 〔あ行〕 |
| アリバイ | coartada |
| 異議審 | audiencia por objeción presentada |
| 異議申立て | alegato de objeción; presentar una objeción |
| 意見聴取 | escuchar las opiniones |
| 意見陳述 | declarar las opiniones; declaración de opiniones |
| 移送 | traslado |
| 移送決定 | orden de traslado; decisión de traslado |
| 一時停止 | suspensión temporal del proceso; suspensión provisional del proceso |
| 一事不再理の効力 | eficacia de prohibición de doble juzgamiento por el mismo caso |
| 一般事件 | caso general; casos de delitos comunes |
| 一般遵守事項 | cláusulas generales establecidas por la Ley |
| 一般短期処遇 | tratamiento correccional general de corto plazo |
| 一般保護観察 | libertad vigilada o condicionada general |
| 一般保護事件 | delito o caso común de un Menor |
| 居直り強盗 | resistencia violenta de un ladrón al ser descubierto (cuando un hurto o robo menor pasa a ser un asalto violento) |
| 違法収集証拠 | prueba obtenida ilegalmente |
| 違法性 | ilegalidad (carácter antijurídico) |
| 違法性阻却事由 | causa justificable; factor que niega la ilegalidad |
| 院外委嘱指導 | educación encargada fuera del instituto |
| 因果関係 | causalidad; relación causal |
| 淫行 | relación sexual ilícita |
| 引致 | traslado forzoso de un sospechoso al lugar designado |
| 引致状 | orden judicial para trasladar a un sospechoso al lugar designado |
| インテーク | admisión; estudio previo para clasificar el caso |
| インテーク基準 | normas de admisión |
| 営利の目的 | propósito de lucro o intención de obtener ganancia |
| 閲覧 | inspección |
| 援助 | ayuda; asistencia |
| 押印 | sello |
| 押収 | decomiso; incautación de uno o más objetos |
| 押収物 | artículo decomisado o incautado |

| | |
|----------|---|
| 〔か〕行 | 〔か〕行 |
| 蓋然的心証 | creencia probable; impresión probable |
| 回避 | evitar; abstención de juzgar en un juicio (por considerarse incompetente el juez) |
| 回付 | remisión o envío del caso de una repartición a otra |
| 開放的な処遇 | régimen flexible y abierto (de la penitenciaría) |
| 確信の程度の心証 | convicción por creencia firme |
| 確信犯 | crimen por fanatismo (ideológico, político, religioso, etc.) |
| 覚せい剤 | droga estimulante |
| 過失 | negligencia (en el desempeño de una actividad) |
| 過失犯 | delito o crimen por negligencia |
| 過剰避難 | prevención de peligro inminente usando fuerza excesiva |
| 過剰防衛 | auto-defensa excesiva; auto-defensa injustificada (en respuesta a una amenaza o acto de violencia) |
| 学校照会 | referencia de la escuela |
| 学校照会書 | carta de referencia de la escuela |
| 仮釈放 | libertad provisional; libertad condicional; libertad bajo palabra |
| 仮収容 | detención provisional |
| 仮退院 | libertad condicional de un Menor; dar de alta en forma provisional a un Menor de una Escuela de Disciplina de Menores |
| 簡易送致 | tratamiento sumarial de un caso |
| 簡易の呼出 | citación sumarial |
| 管轄 | jurisdicción |
| 環境調整 | reordenamiento del ambiente o entorno (familiar o social) |
| 環境調整の措置 | medidas para reordenar el ambiente o entorno (familiar o social) |
| 環境調整命令 | orden judicial para reordenar el ambiente o entorno (familiar o social) |
| 勧告 | recomendación; exhortación; sugerencia |
| 観護措置 | detención preventiva; detención de un Menor para trasladarlo a la Casa de Clasificación de Menores; poner bajo custodia de un Oficial de Prueba del Tribunal de Familia |
| 観護措置決定 | orden de detención de un Menor; orden de custodia de un Menor |
| 観護令状 | orden judicial de detención de un Menor |

| | |
|------------|---|
| 觀察 | supervisión; observación |
| 鑑定 | prueba pericial |
| 鑑定人 | experto; perito |
| 鑑定留置 | detención para someter a la persona a una prueba minuciosa de los peritos |
| 還付 | devolución; reintegro |
| 鑑別結果 | resultado del examen psico-físico de un Menor para ubicarlo en un establecimiento correccional; resultado de la clasificación; resultado del examen físico y mental |
| 鑑別結果通知書 | notificación de resultado de la clasificación de un Menor; informe del experto en clasificación |
| 期間 | período; plazo; término |
| 棄却 | denegación |
| 危険性の予測 | pronóstico de la posibilidad de cometer nuevos delitos en el futuro; delincuente Menor de posible reincidencia |
| 期日 | fecha del juicio; fecha fijada para el juicio |
| 既遂 | consumación total de un delito o crimen |
| 偽造 | falsificación |
| 既判力 | efecto de la cosa juzgada |
| 忌避 | recusación; cambiar un juez por descalificación |
| 却下 | rechazo (de una apelación); denegación de una solicitud |
| 凶悪犯 | criminal peligroso |
| 教科教育 | educación con base en currículum |
| 教科指導 | orientación con base en currículum |
| 凶器 | arma; herramienta utilizada para cometer un delito o crimen |
| 教唆 | instigación; inducción |
| 矯正教育 | educación correccional |
| 強制送還 | deportación |
| 強制退去 | deportación; expulsión forzada de un país |
| 強制調査 | investigación compulsiva (con orden judicial) |
| 強制的措置 | medida compulsiva o forzosa |
| 強制的措置許可決定 | decisión de adoptar una medida compulsiva |
| 強制的措置不許可決定 | decisión de desaprobación de una medida compulsiva |
| 共犯 | complicidad |
| 共犯者 | cómplice; co-autor |
| 共謀 | conspiración; confabulación |
| 協力 | cooperación; colaboración |

| | |
|----------|---|
| 居所 | residencia; paradero; domicilio |
| 緊急同行状 | orden judicial de emergencia para el traslado o protección de un Menor |
| 緊急避難 | evacuación de emergencia; evitar un peligro inminente |
| 禁制品 | mercancías prohibidas |
| 国親 | parens patriae |
| 国親思想 | ideología de parens patriae |
| ぐ犯 | pre-delincuencia |
| ぐ犯事由 | causa de pre-delincuencia |
| ぐ犯少年 | Menor en estado previo a cometer un delito; Menor con propensidad de cometer un delito |
| ぐ犯性 | tendencia a cometer un delito |
| 訓戒 | amonestación; reprimenda |
| 刑事事件 | caso criminal; crimen |
| 刑事施設 | institución penal |
| 刑事処分相当 | caso penalizable como crimen |
| 刑事責任年齢 | edad suficiente para asumir responsabilidades penales |
| 軽微事件 | delito menor; caso de delito menor |
| 刑法犯 | delito según el código penal |
| 決定 | decisión; orden |
| 決定書 | documento de la decisión judicial |
| 決定書の送達 | envío del documento de decisión |
| 決定の執行 | ejecución de la decisión |
| 決定の通知 | aviso de la decisión; notificación de la decisión |
| 検察官関与決定 | decisión de participación del Fiscal |
| 検察官送致決定 | decisión de envío del caso al Fiscal |
| 検証 | inspección |
| 故意 | premeditación, intención criminal, intención deliberada |
| 合議体 | audiencia celebrada con tres jueces |
| 公共の福祉 | bienestar público |
| 拘禁 | prisión; detención; custodia |
| 後見人 | tutor; tutor apoderado de un Menor |
| 抗告 | apelación |
| 抗告受理決定 | decisión de aceptación de la apelación a un Tribunal Superior referente a una decisión o un fallo dictado sin un procedimiento oral |
| 抗告受理の申立て | solicitud de aceptación a un Tribunal Superior referente a una decisión o un fallo dictado sin un |

| | |
|------------|--|
| 抗告審 | procedimiento oral |
| 抗告の趣意 | instancia de apelación |
| 抗告の申立て | razón de la apelación |
| 抗告の申立書 | demanda de apelación |
| 抗告不受理決定 | declaración escrita de apelación |
| 更新 | decisión de rechazo de apelación (referente a una decisión o un fallo dictado sin un procedimiento oral) |
| 更新決定 | renovación; extensión de una medida judicial; ampliación de la vigencia de una medida judicial |
| 更生 | decisión de renovación o extensión |
| 更正 | rehabilitación; reintegración de un convicto a la sociedad |
| 更正決定 | rectificación; rectificar un documento o una decisión judicial |
| 公訴 | decisión de rectificación |
| 公訴の提起 | acusación pública del Fiscal al Tribunal; solicitud de procesamiento judicial |
| 交通事件 | presentación de la Acusación al Tribunal |
| 交通切符 | caso de violación de normas de tránsito |
| 交通切符制度 | boleta de infracción de tránsito |
| 交通短期保護観察 | sistema de boletas de infracción de tránsito |
| 交通反則通告制度 | programa de corto plazo para menores infractores de normas de tránsito que están en libertad vigilada |
| 交通保護観察 | sistema de notificación de infracciones de tránsito |
| 勾留 | libertad vigilada de un Menor que ha cometido una infracción de tránsito |
| 勾留状 | detención provisional |
| 勾留に代わる観護措置 | orden judicial de detención provisional |
| 勾留理由開示 | medida de vigilancia y protección en lugar de detención provisional |
| 国籍 | revelación de las razones de la detención provisional |
| 国選付添人 | nacionalidad |
| 国選弁護人 | acompañante oficial; acompañante nombrado por el juzgado; representante del Menor en el procedimiento judicial en el Tribunal de Familia |
| 告知 | abogado defensor designado por el Tribunal |
| 告知調書 | notificación judicial; aviso |
| 国法上の裁判所 | declaración de la notificación judicial |
| 国家賠償 | tribunales establecidos por las Leyes Nacionales |
| 個別処遇の原則 | compensación o indemnización gubernamental |
| | principio de tratamiento individualizado |

| | |
|--------------|---|
| [さ行] | [さ行] |
| 在院者 | preso; encarcelado; internado |
| 再抗告 | reiteración de la apelación |
| 再審 | recurso de revisión de un juicio; reapertura de un caso |
| 在宅鑑別 | clasificación de Menores en domicilio fijado |
| 裁判官の回避 | abstención del juez |
| 裁判権 | jurisdicción |
| 裁判長 | juez presidente |
| 酒酔い | intoxicación por alcohol; ebrio; borracho |
| 差戻し | reenvío del caso al Tribunal |
| 差戻後の審判 | audiencia del caso reenviado |
| 参考人 | testigo |
| 事案軽微 | casos leves; casos menores |
| 死刑 | pena de muerte; pena capital |
| 試験観察 | supervisión probatoria tentativa por el supervisor del Tribunal de Asuntos Familiares |
| 試験観察決定 | decisión de supervisión probatoria tentativa |
| 事件記録 | registro de casos; declaraciones e investigaciones tomadas en un caso |
| 事件の再起 | reestablecimiento de un caso; apertura de un caso cerrado |
| 事件の調査 | investigación de un caso |
| 事後審 | investigación post-facto de un juicio o una decisión |
| 事実審理の結果 | resultado de la comprobación de la veracidad de los hechos en el Tribunal |
| 自首 | entregarse voluntariamente a las autoridades |
| 施設送致申請 | solicitud de envío a una institución |
| 施設送致申請事件 | caso en que se solicita el envío a una institución |
| 私選付添人 | acompañante privado |
| 執行 | ejecución de las decisiones |
| 執行機関 | órgano de ejecución |
| 執行指揮 | autoridad de ejecución; dirigir una ejecución |
| 執行指揮書 | orden de ejecución; directiva de ejecución |
| 執行のための同行状 | orden judicial de ejecución; orden judicial para ejecutar el traslado de un Menor |
| 執行の停止 | suspensión de llevar a cabo una decisión administrativa |
| 指導監督 | dirección y supervisión |
| 児童自立支援施設送致決定 | decisión de enviar a un Menor al Instituto de Asistencia a la Autonomía de Menores |

| | |
|--------------|---|
| 児童相談所長への送致決定 | decisión de enviar el caso al Jefe del Centro de Asesoramiento de Menores |
| 児童養護施設送致決定 | decisión de enviar a un Menor al Centro de Protección de Menores |
| 自白 | confesión; admitir la responsabilidad de un hecho |
| 司法 | justicia; Poder Judicial |
| 司法的機能 | función judicial |
| 社会記録 | informe que describe el ambiente social |
| 社会貢献活動 | actividades de contribución a la sociedad |
| 社会資源 | recursos sociales |
| 社会適応性 | adaptabilidad social |
| 社会生活 | vida cotidiana en la sociedad |
| 社会内処遇 | tratamiento de un Menor dentro de la sociedad; medida no institucional para la reinserción social de un Menor |
| 社会調査 | investigación social |
| 社会防衛 | defensa social |
| 社会防衛思想 | idea de la defensa social |
| 終局処分 | disposición definitiva |
| 住居 | domicilio; lugar de residencia |
| 住所 | dirección; domicilio |
| 自由心証主義 | principio de libre arbitrio de los Jueces en dictaminar el valor probatorio de las evidencias |
| 重大な事実誤認 | apreciación errónea grave de los hechos |
| 集団講習 | curso en grupo; tratamiento en grupo |
| 集団処遇 | tratamiento en grupo |
| 収容区分 | clasificación de los detenidos |
| 収容継続 | continuación de la custodia o detención |
| 収容継続決定 | decisión de continuación de la custodia o detención |
| 収容継続申請 | solicitud de continuación de la custodia o detención |
| 収容継続申請事件 | caso relacionado a la solicitud de continuación de la custodia o detención |
| 受命裁判官 | juez encargado de un acto procesal, nombrado por el juez presidente |
| 準抗告 | cuasi recurso de apelación |
| 遵守事項 | reglas a observar; directivas que debe cumplir |
| 遵守事項違反 | violación de las reglas a observar |
| 準少年保護事件 | cuasi delito de un menor |
| 証言 | testimonio |
| 証拠 | evidencia; prueba |
| 証拠調べ | examen de las pruebas; constatación de las |

| | |
|--------------|--|
| 証拠法則 | evidencias |
| 小舎制 | reglas normativas de las pruebas sistema bajo el cual un pequeño número de niños son alojados en una unidad residencial |
| 証人 | testigo |
| 証人尋問 | interrogatorio de un testigo (en el Tribunal) |
| 証人尋問権 | derecho a interrogar a un testigo para que declare |
| 証人等の費用 | gastos ocasionados por citar al testigo, entre otros |
| 少年 | Menor; joven |
| 少年院送致 | envío del Menor a la Escuela de Disciplina de Menores |
| 少年院送致決定 | decisión de envío del Menor a la Escuela de Disciplina de Menores |
| 少年鑑別所収容の一時継続 | continuación temporal de la detención en una Casa de Clasificación de Menores |
| 少年審判 | Tribunal de Menores |
| 少年審判手続 | procedimiento judicial para Menores |
| 少年調査記録 | registro de investigación de un Menor |
| 少年調査票 | ficha de investigación o de antecedentes de un Menor |
| 少年の刑事事件 | caso criminal por un Menor |
| 少年の健全な育成 | desarrollo y formación integral de un Menor |
| 少年の保護事件 | caso de protección de un Menor |
| 少年非行 | delincuencia de Menores |
| 少年保護事件 | caso de protección de un Menor |
| 少年補償 | compensación o indemnización a Menores |
| 少年補償事件 | caso de compensación o indemnización a Menores |
| 抄本 | extracto o porción de un documento |
| 証明書 | certificado |
| 処遇勧告 | recomendación sobre el tratamiento (de los detenidos) |
| 職業指導 | orientación vocacional |
| 職業補導 | orientación y capacitación vocacional |
| 職権主義 | principio de Autoridad de Oficio del Magistrado |
| 職権主義的審問構造 | estructura de investigación e interrogatorio bajo el principio de Autoridad de Oficio del Magistrado |
| 触法少年 | persona menor a 14 años que se presume ha transgredido alguna ley penal u ordenanza |
| 所在不明 | desaparecido; paradero desconocido |
| 除斥 | recusación de un juez de un caso; exclusión |
| 処断刑 | penas a ser aumentadas o reducidas por la ley o tomando en cuenta las circunstancias atenuantes |

| | |
|-----------|---|
| 処分の著しい不当 | injustificación notable de las medidas correccionales |
| 親権 | patria potestad |
| 親権行使 | ejercicio de la patria potestad |
| 親権尊重 | respeto a la patria potestad |
| 人権尊重 | respeto a los derechos humanos |
| 人権保護 | protección a los derechos humanos |
| 人権保障 | garantía de los derechos humanos |
| 身上調査表 | informe de investigación de los datos y antecedentes personales |
| 心身鑑別 | examen mental y físico; discernimiento del estado mental y físico |
| 身体の自由の拘束 | restricción de la libertad física |
| 人定質問 | preguntas de identificación personal |
| 審判 | audiencia; juicio; tribunal |
| 審判開始決定 | decisión de iniciar el juicio; orden de comienzo de la audiencia |
| 審判権 | derecho a tener una audiencia judicial |
| 審判不開始決定 | decisión de no iniciar un juicio |
| 審判期日 | fecha del juicio; fecha de la audiencia |
| 審判期日通知書 | notificación de la fecha del juicio |
| 審判結果通知 | notificación del resultado del juicio |
| 審判条件 | condiciones para el juicio; condiciones para la audiencia |
| 審判状況説明 | explicación del estado del juicio |
| 審判調書 | registro de procedimientos del juicio |
| 審判廷 | sala de juicio; Corte |
| 審判に付すべき少年 | Menor que debe ser sometido a juicio |
| 審判の併合 | unificación de procesos judiciales |
| 審判非公開 | juicio no público |
| 審判傍聴 | presencia en un juicio o audiencia |
| 性格の矯正 | corrección del carácter de una persona |
| 生活指導 | orientación para la vida cotidiana; orientación de vida |
| 成人 | adulto |
| 正当防衛 | auto-defensa legítima |
| 正本 | copia auténtica; copia autenticada |
| 責任 | responsabilidad |
| 責任能力 | capacidad de asumir responsabilidades |
| 接見交通権 | derecho a visitar y comunicarse con un detenido |
| 接見の禁止 | prohibición de comunicación con el acusado o sospechoso detenido |
| 接見の制限 | restricción de comunicación con el acusado o |

| | |
|----------|---|
| 宣誓 | sospechoso detenido |
| 専門的知識の活用 | juramento |
| 全件送致主義 | uso práctico del conocimiento técnico; utilización del conocimiento técnico |
| 捜査 | sistema por el cual la Policía y/o Fiscalía envía todos los casos de Menores al Tribunal de Familia |
| 捜査機関 | investigación |
| 捜索 | autoridad de investigación; órgano de investigación |
| 送致 | búsqueda |
| 訴訟法上の裁判所 | entrega o envío de expedientes judiciales |
| 粗暴犯 | tribunal según el Código de Procedimiento |
| 損害 | crimen violento; delito de alta agresividad |
| 損害賠償 | daño; perjuicio |
| | indemnización por daños y perjuicios |
| 〔た行〕 | 〔た行〕 |
| 体育指導 | instrucción con ejercicios físicos |
| 退院 | liberación; puesta en libertad (de una institución correccional) |
| 逮捕 | arresto |
| 知事への送致決定 | decisión de enviar el caso al Gobernador de la Prefectura |
| 中間少年 | Menores de edad intermedia (de 16 y 17 años); adolescentes intermedios |
| 長期の処遇 | programa de reinserción social a largo plazo |
| 調査 | investigación |
| 調査官 | Oficial de Prueba del Tribunal de Familia |
| 調査命令 | orden de investigación sobre un Menor |
| 調査報告書 | informe de investigación de un Menor |
| 直送事件 | casos de Menores que la Policía envía directamente al Tribunal de Familia |
| 陳述録取書 | formulario para la toma de declaraciones |
| 陳述録取調書 | informe de las declaraciones tomadas |
| 通行禁止 | prohibido el paso |
| 通行区分 | área definida para el paso |
| 通告 | notificación; aviso |
| 通訳 | interpretación (de un idioma a otro) |
| 通訳人 | intérprete |
| 付添人 | acompañante de un Menor |
| 付添人の選任 | nombramiento del acompañante del Menor |
| 連戻し | hacer regresar (a un Menor fugitivo a la Escuela de |

| | |
|------------|--|
| 連戻状 | Disciplina de Menores) orden judicial para hacer regresar (a un Menor fugitivo a la Escuela de Disciplina de Menores) |
| 適正手続 | procedimiento legal apropiado |
| 伝聞証拠 | prueba indirecta; prueba a base de rumores; testimonio de oídas |
| 伝聞法則 | norma de pruebas indirectas; normas sobre los testimonios de oídas |
| 同行 | traslado de un Menor a la Corte |
| 同行状 | orden judicial para el traslado de un Menor a la Corte |
| 動向視察 | inspección de condiciones relativas a un Menor a quien se han asignado medidas educativas |
| 謄写 | copia |
| 謄本 | duplicado; copia certificada |
| 道路交通事件 | caso de violación de leyes de tránsito |
| 特別活動指導 | inicio de actividades especiales |
| 特別遵守事項 | condiciones especiales que deben ser observadas |
| 特別法犯 | delito penal contra leyes especiales |
| [な行] | [な行] |
| 任意調査 | investigación sin orden judicial; investigación voluntaria |
| 任意同行 | presentarse voluntariamente a las autoridades |
| 年少少年 | Menores de edad inferior (14 y 15 años); adolescentes menores |
| 年長少年 | Menores de edad superior (18 y 19 años); adolescentes mayores |
| 年齢超過 | edad excedida; fuera de la edad límite |
| [は行] | [は行] |
| 犯罪 | crimen; delito |
| 犯罪少年 | delincuente Menor |
| 犯罪の嫌疑 | sospecha de crimen |
| 反対尋問 | preguntas de la parte opuesta |
| 反対尋問権 | derecho de la parte opuesta a realizar preguntas |
| 被害者 | víctima |
| 被害者調査 | investigación de la víctima |
| 非行 | delito;; mala conducta |
| 非行事実 | hecho delictivo; hecho de mala conducta |
| 非行事実存在の蓋然性 | probabilidad de existencia del hecho delictivo |
| 非行事実の告知 | notificación del hecho delictivo |

| | |
|--------------|--|
| 非行事実の認否 | reconocimiento o negación del hecho delictivo |
| 非行性 | tendencia a repetir conductas delictivas |
| 非行なし | se determina que el Menor no ha cometido un delito; no existencia de conducta delictiva del Menor |
| 非常上告 | apelación extraordinaria |
| 否認 | negación; negar la autoría de un delito; negar la acusación |
| 否認事件 | caso de negación de la acusación |
| 秘密性 | secreto; confidencialidad |
| 不告不理の原則 | principio de no procesar el caso sin denuncia |
| 不処分 | no aplicación de medidas educativas |
| 不処分決定 | decisión de no aplicación de medidas educativas |
| 不定期刑 | condena de duración indeterminada |
| 不服申立て | objeción a la sentencia dictada; presentar una apelación; solicitar una objeción |
| 不利益変更禁止 | prohibición de cambiar una sentencia a otra más desventajosa para el acusado |
| 分類処遇 | tratamiento clasificado según el caso |
| 併合審判 | audiencia unificada; proceso judicial unificado de casos |
| 弁解 | explicación desde el punto de vista del acusado |
| 弁解の聴取 | tomar la declaración de la explicación del acusado |
| 変更の申出 | solicitud de modificación |
| 弁護士 | abogado; asesor legal |
| 弁護人 | abogado defensor |
| 保安処分 | medidas de seguridad |
| 報告 | informe; reporte |
| 法廷遵守事項 | condiciones y normas estipuladas por ley |
| 法定代理人 | representante legal; apoderado legal |
| 法的調査 | investigación legal |
| 法律記録 | registros de antecedentes jurídicos |
| 保護観察 | libertad en observación; libertad vigilada de un Menor |
| 保護者 | tutor de un Menor |
| 保護処分 | medidas educativas; medidas de protección |
| 保護処分取消決定 | decisión judicial de anular la medida educativa |
| 保護処分取消事件 | caso de anulación de la medida educativa |
| 保護処分の競合 | conjunción de medidas educativas |
| 保護処分の取消し | anulación de medidas educativas |
| 教育的措置(保護的措置) | acciones educativas (acciones de protección; medidas de protección) |
| 没取 | confiscación |

| | |
|-----------|--|
| 没取決定 | decisión de confiscación |
| 没取に係る物の返付 | devolución de artículos decomisados |
| 補充捜査 | investigación complementaria |
| 補償の払渡し | pago de indemnización |
| 補導委託 | encargo de la corrección de un Menor; encomienda de corrección |
| 補導委託先 | institución o persona a la que se encarga la corrección del menor |
| 補導委託費 | costos de encargo o encomienda de corrección de un Menor |
| 補導援護 | asistencia y orientación en la corrección de un Menor |
| 本籍照会 | consulta de domicilio familiar permanente; investigación del domicilio familiar permanente |
| 本籍照会書 | consulta escrita de domicilio familiar permanente |
| 翻訳 | traducción |
| 翻訳人 | traductor |
| 〔ま行〕 | 〔ま行〕 |
| 身柄付送致 | envío del Menor al Tribunal de Familia con restricción física |
| みなし勾留 | caso en que la permanencia en una Casa de Clasificación de Menores se considera detención |
| 無職の者 | desempleado; persona sin empleo |
| 無断外出 | salida sin permiso |
| 面前告知 | notificación en presencia del Menor |
| 申出 | solicitud |
| 申出人 | solicitante |
| 黙秘権 | derecho a no declarar; derecho a permanecer en silencio |
| 黙秘権の告知 | notificación del derecho a no declarar; notificación del derecho a permanecer en silencio |
| 戻し收容 | reingreso a una Escuela de Disciplina de Menores por reincidencia |
| 戻し收容決定 | decisión de reinternar a un Menor en una Escuela de Disciplina de Menores por reincidencia |
| 戻し收容処分 | medida de reingreso a una Escuela de Disciplina de Menores por reincidencia |
| 戻し收容申請事件 | caso concerniente a la solicitud de reingreso a la Escuela de Disciplina de Menores |
| 〔や行〕 | 〔や行〕 |

| | |
|-------|--|
| 有職の者 | empleado; persona con empleo |
| 有責性 | culpabilidad; responsabilidad en la culpa |
| 要保護性 | necesidad de medidas educativas; necesidad de protección |
| 余罪 | crímenes no juzgados; cargos pendientes |
| 余罪捜査 | investigación de crímenes no juzgados |
| 呼出 | citación |
| 呼出状 | cédula de citación |
| 〔ら行〕 | 〔ら行〕 |
| 留置施設 | institución de detención |
| 労役場留置 | detención y corrección de un Menor a través de actividades laborales |

第2 調査関係用語

| | |
|---------------|---|
| 〔あ行〕 | 〔あ行〕 |
| 家出 | fuga del hogar |
| 居心地 | comodidad |
| 遺伝 | herencia |
| 姻族 | pariente por afinidad |
| 〔か行〕 | 〔か行〕 |
| カウンセリング | asesoramiento; consejería |
| 家族関係 | relación familiar |
| 家長 | jefe de familia; cabeza de familia |
| 家庭内暴力 | violencia en la familia; conducta violenta dentro de la familia |
| 義務教育 | educación obligatoria |
| 虐待 | abuso; maltrato; tortura; violencia física; tormento |
| 血族 | familiar consanguíneo |
| 高等学校(高校) | escuela secundaria superior |
| 行動傾向 | tendencias de la conducta |
| 公立 | público |
| 危険ドラッグ(脱法ハーブ) | drogas peligrosas (hierbas alucinógenas ilegales) |
| 〔さ行〕 | 〔さ行〕 |
| しつけ | disciplina; formación de una conducta disciplinada |
| 社会奉仕活動 | actividades de servicio comunitario |
| 照会書 | carta de referencia |
| 小学校 | escuela primaria |
| 上司 | superior inmediato; jefe |
| 職種 | tipo de trabajo; tipo de ocupación |
| 私立 | privado |
| 信条 | creencia; credo |
| 親族 | familiar; pariente |
| 心理テスト | test psicológico; examen psicológico |
| 住込み | vivir con el patrón o empleador; vivir en el lugar de trabajo |
| 生活史 | historial de vida |
| 生活費 | gastos de la vida diaria; gastos cotidianos |
| 成績 | calificaciones escolares; puntaje del desempeño escolar |
| 性的虐待 | abuso sexual |
| 生理 | menstruación; fisiología |
| 専門学校 | escuela técnica; escuela vocacional |

| | |
|--------|--|
| 送金 | remesa de dinero |
| 相談相手 | asesor; consejero |
| 〔た行〕 | 〔た行〕 |
| 退学 | abandono de la escuela; abandono de los estudios; expulsión de la escuela |
| 大学 | universidad |
| 怠休 | rabona; faltar a clase injustificadamente |
| 短所 | defectos; puntos vulnerables |
| 中学校 | escuela secundaria inferior |
| 長所 | atributos; puntos fuertes |
| 通勤 | viaje al lugar de trabajo |
| 手続 | trámite; procedimiento |
| 手取り | salario neto; dinero en mano |
| 転居 | cambio de domicilio |
| 転校 | cambio de escuela |
| 転職 | cambio de ocupación o empleo |
| 動機 | motivo; móvil del crimen |
| 同棲 | convivencia; cohabitación; concubinato |
| 同僚 | colega; compañero de trabajo |
| 特技 | habilidad especial; talento |
| 〔な行〕 | 〔な行〕 |
| 仲 | relación |
| 肉体関係 | relación carnal; relación sexual |
| 入学 | ingreso a la escuela |
| 〔は行〕 | 〔は行〕 |
| 配偶者 | cónyuge; esposo/a |
| 背景 | trasfondo; historial |
| 売春 | prostitución |
| 父系 | descendencia paterna; parentesco por parte paterna |
| 不純異性交遊 | promiscuidad; relación inmoral con un menor; relación sexual ilegal |
| 扶養 | sostén económico; mantenimiento |
| 扶養家族 | dependiente; familiar mantenido |
| 保育所 | guardería de niños |
| 母系 | descendencia materna; parentesco por parte materna |
| 〔ま行〕 | 〔ま行〕 |
| 身元引受人 | garante; aval; responsable de una persona; garante para |

| | |
|-------------------------|---|
| 面接 | que un extranjero pueda residir o trabajar en Japón entrevista |
| [や行] 役割 幼少 幼稚園 | [や行] rol o responsabilidad de una persona infancia; jardín de infantes; jardín de infancia |
| [ら行] 離婚 労働条件 | [ら行] divorcio condiciones laborales; condiciones de empleo |

第3 官庁等諸機関名

| | |
|---------------|--|
| 〔あ行〕 | 〔あ行〕 |
| 医務室 | consultorio médico; sala de primeros auxilios; enfermería |
| 医務室技官 | empleado del consultorio médico; enfermero de la sala de enfermería |
| 受付 | recepción |
| 〔か行〕 | 〔か行〕 |
| 海上保安庁 | Agencia de Seguridad Marítima |
| 外務省 | Ministerio de Asuntos Exteriores |
| 科学調査室 | Oficina de Investigación Científica |
| 家庭裁判所 | Tribunal de Familia |
| 家庭裁判所支部 | Oficina Distrital del Tribunal de Familia |
| 家庭裁判所調査官(調査官) | Oficial de Prueba del Tribunal de Familia (Oficial de Prueba) |
| 家庭裁判所調査官室 | Oficina del Oficial de Prueba del Tribunal de Familia |
| 簡易裁判所 | Tribunal Sumarial |
| 矯正管区 | Jefatura Regional de Corrección de Menores |
| 矯正管区長 | Superintendente de la Jefatura Regional de Corrección de Menores |
| 矯正局 | Dirección de Corrección |
| 区 | Distrito |
| 区検察庁 | Fiscalía Distrital |
| 警察 | Policía |
| 警察官 | agente de policía |
| 警察署 | Comisaría; Departamento de Policía |
| 警察職員 | funcionario de la policía |
| 警察署の保護室 | Sala de Custodia de la Comisaría |
| 警察庁 | Agencia Nacional de Policía |
| 警察庁次長 | Sub-comisionado General de la Agencia Nacional de Policía |
| 警察庁長官 | Comisionado General de la Agencia Nacional de Policía |
| 警視 | Superintendente de la Policía |
| 警視監 | Superintendente Mayor (o Supervisor) |
| 警視正 | Superintendente Superior (más antiguo) |
| 警視總監 | Superintendente General |
| 警視庁 | Departamento de la Policía Metropolitana; Policía Metropolitana de Tokio |
| 警視長 | Superintendente en Jefe |
| 警部 | Inspector de Policía |

| | |
|------------|--|
| 警部補 刑務官 | Sub-Inspector de Policía funcionario de prisión; oficial penitenciario; oficial de custodia de las cárceles |
| 刑務所 | prisión; cárcel |
| 刑務所長 | jefe de prisión |
| 県 | Prefectura |
| 県警察本部 | Jefatura de la Policía Prefectural |
| 検察 | Fiscalía |
| 検察官 | Fiscal; Procurador Público |
| 検察事務官 | Asistente del Fiscal; Oficial Asistente del Fiscal |
| 検察庁 | Fiscalía; Oficina del Fiscal |
| 検事 | Fiscal |
| 検事正 | Fiscal en Jefe (de la Fiscalía Distrital) |
| 検事総長 | Procurador General; Fiscal General |
| 検事長 | Fiscal Superintendente (de la Fiscalía Superior) |
| 公使 | Ministro |
| 厚生労働省 | Ministerio de Salud, Bienestar y Trabajo |
| 更正保護会 | Centro de Ayuda para la Rehabilitación Social |
| 更正保護婦人会 | Centro Femenino de Ayuda para la Rehabilitación Social |
| 拘置所 | Establecimiento de Detención Provisional |
| 高等検察庁 | Fiscalía Superior |
| 高等裁判所 | Tribunal Superior |
| 高等裁判所長官 | Presidente del Tribunal Superior |
| 〔さ行〕 | 〔さ行〕 |
| 最高検察庁 | Fiscalía Suprema |
| 最高裁判所 | Corte Suprema |
| 最高裁判所長官 | Presidente de la Corte Suprema |
| 最高裁判所裁判官 | Juez de la Corte Suprema |
| 裁判官 | Juez |
| 裁判所事務官 | Funcionario Asistente del Tribunal |
| 裁判所書記官 | Secretario Asistente del Tribunal |
| 裁判長 | Juez Presidente |
| 市 | Ciudad |
| 次長検事 | Procurador General Adjunto |
| 児童委員 | Asistente Social para Menores |
| 児童自立支援施設 | Instituto de Asistencia a la Autonomía de Menores |
| 児童相談所 | Centro de Asesoramiento a los Menores |
| 児童相談所長 | Director del Centro de Asesoramiento a los Menores |
| 児童福祉司 | Oficial Especializado para el Bienestar del Menor |
| 児童養護施設 | Centro de Protección de Menores |

| | |
|---------------|---|
| 司法警察員 | Oficial de la Policía Judicial |
| 司法警察職員 | Personal de la Policía Judicial |
| 司法巡查 | Agente de de la Policía Judicial; Oficial de Vigilancia |
| 巡查 | Agente de Policía |
| 巡查長 | Agente de Policía de mayor antigüedad |
| 巡查部長 | Sargento de Policía |
| 少年院 | Escuela de Disciplina de Menores; Reformatorio de Menores |
| 少年鑑別所 | Casa de Clasificación de Menores |
| 少年刑務所 | Prisión de Menores |
| 書記官室 | Oficina del Secretario Judicial |
| 人權擁護局 | Departamento de Protección de los Derechos Humanos (Civiles) |
| 審判官 | Juez |
| 審判廷 | Sala de Audiencia; Corte; Tribunal |
| 税関 | Aduana |
| 〔た行〕 | 〔た行〕 |
| 第1種少年院 | Escuela de Disciplina de Menores Tipo 1 |
| 大使 | Embajador |
| 大使館 | Embajada |
| 第3種少年院 | Escuela de Disciplina de Menores Tipo 3 |
| 第2種少年院 | Escuela de Disciplina de Menores Tipo 2 |
| 第4種少年院 | Escuela de Disciplina de Menores Tipo 4 |
| 知事(都道府県知事) | Gobernador (Gobernador de la Prefectura) |
| 地方検察庁 | Fiscalía de Distrito |
| 地方検察庁支部 | Oficina Local de la Fiscalía de Distrito |
| 地方更正保護委員会 | Comisión Distrital de Ayuda para la Rehabilitación Social |
| 地方裁判所 | Tribunal de Distrito; Corte Distrital |
| 地方裁判所支部 | Oficina Local del Tribunal de Distrito |
| 地方法務局 | Departamento Distrital de Asuntos Legales |
| 中央更正保護審査会 | Comisión Nacional de Ayuda para la Rehabilitación Social |
| 調査官(家庭裁判所調査官) | Oficial de Prueba (Oficial de Prueba del Tribunal de Familia) |
| 〔な行〕 | 〔な行〕 |
| 入国管理局 | Oficina de Inmigración |
| 入国管理事務所 | Oficina Local de Inmigración |
| 入国管理局出張所 | Agencia Local de la Oficina de Inmigración |
| 入国者収容所 | Centro de Inmigraciones; Centro de Detención |

Temporaria para Extranjeros Indocumentados

| | |
|--------|--|
| 〔は行〕 | 〔は行〕 |
| 判事 | Juez |
| 判事補 | Juez Auxiliar; Juez Asistente |
| 福祉事務所 | Oficina de Asistencia Social |
| 法務技官 | Oficial Técnico del Ministerio de Justicia |
| 法務教官 | Instructor del Ministerio de Justicia |
| 法務省 | Ministerio de Justicia |
| 保護局 | Departamento de Rehabilitación |
| 保護観察官 | agente de libertad vigilada; oficial de custodia de los que están en libertad condicional |
| 保護観察所 | oficina a cargo de delincuentes con libertad vigilada; Centro de Formación para los Liberados Condicionalmente |
| 保護観察所長 | Director del Centro de Formación para los Liberados Condicionalmente |
| 保護区 | zona de custodia para los liberados condicionalmente |
| 保護司 | oficial voluntario para la rehabilitación de delincuentes; agente voluntario de libertad vigilada |
| 補導委託先 | institución a la que se encarga la rehabilitación de menores |
| 〔ろ行〕 | 〔ろ行〕 |
| 領事 | Cónsul |
| 領事館 | Consulado |

第4 法令名

| | |
|---|---|
| 〔あ行〕 | 〔あ行〕 |
| あへん法 | Ley de Opio |
| 安保条約 (日本国とアメリカ合衆国との間の 相互協力及び安全保障条約) | Tratado de Seguridad (Tratado de Seguridad y Cooperación Mutua entre los Estados Unidos de América y Japón) |
| 医師法 | Ley de Médicos (Ley para la Práctica de la Medicina) |
| 意匠法 | Ley de Protección de Diseños |
| 医療法 | Ley de Servicios Médicos |
| ウィーン条約 (領事関係に関するウィーン条約) | Convención de Viena (Convención de Viena sobre Relaciones Consulares) |
| 恩赦法 | Ley de Amnistía |
| 〔か行〕 | 〔か行〕 |
| 外国為替及び外国貿易法 | Ley de Divisas y Comercio Exterior |
| 外国裁判所ノ囑託ニ因ル共助法 | Ley de Ayuda Judicial para Procesados en Tribunales Extranjeros |
| 海上交通安全法 | Ley de Seguridad para el Tráfico Marítimo |
| 海上衝突予防法 | Ley para la Prevención de Colisiones en el Mar (Prevención de Accidentes Marítimos) |
| 覚せい剤取締法 | Ley de Control de Drogas Estimulantes |
| 家事事件手続規則 | Normas de Determinación de Asuntos Domésticos |
| 家事事件手続法 | Ley para la Determinación de Asuntos Domésticos |
| 学校教育法 | Ley de Educación Escolar |
| 割賦販売法 | Ley de Ventas en Cuotas |
| 火薬類取締法 | Ley de Control de Explosivos |
| 関税定率法 | Ley de Tarifas Aduaneras (Aranceles Aduaneros) |
| 関税法 | Ley de Aduanas |
| 警察官職務執行法 | Ley sobre Ejercicios de los Deberes Policiales |
| 警察法 | Ley de Policía |
| 刑事訴訟規則 | Normas de Procedimientos Penales |
| 刑事訴訟費用等に関する法律 | Ley sobre los Costos de Procedimientos Penales |
| 刑事訴訟法 | Código de Procedimiento Penal |
| 刑事補償規則 | Normas para la Aplicación de la Ley de Indemnización Penal |
| 刑事補償法 | Ley de Indemnización Penal |
| 競馬法 | Ley de Carreras Hípicas |
| 軽犯罪法 | Ley sobre Delitos Menores |
| 刑法 | Código Penal |
| 検察審査会法 | Ley de Revisión de la Fiscalía; Ley de Comité para la |

| | |
|--|--|
| 検察庁法 | Revisión de las Demandas |
| 憲法 (日本国憲法) | Ley de Fiscalía |
| 公害罪法 (人の健康に係る公害 犯罪の処罰に関する法律) | Constitución de Japón |
| 航空機の強取等の処罰に関する 法律 | Ley sobre Crímenes con Perjuicio Público (ley que penaliza los delitos que afectan la salud humana) |
| 航空の危険を生じさせる行為等の 処罰に関する法律 | Ley que penaliza la Piratería Aérea |
| 更生保護法 | Ley que penaliza los Actos que ponen en peligro la Navegación Aérea |
| 国際捜査共助法 | Ley de Rehabilitación y Observación |
| 国籍法 | Ley de Ayuda para las Investigaciones Internacionales |
| 戸籍法 | Ley de Nacionalidad |
| 国家賠償法 | Ley de Registro Familiar |
| | Ley de Indemnización del Estado |
| [さ行] | [さ行] |
| 裁判所法 | Ley de Organización de los Tribunales |
| 酒に酔って公衆に迷惑をかける行 為の防止等に関する法律 | Ley para la Prevención de Perjuicios causados por Ebrios en la Vía Pública |
| 自転車競技法 | Ley sobre Carreras de Ciclismo |
| 児童買春、児童ポルノに係る行為 等の規制及び処罰並びに児童の 保護等に関する法律 | Reglamentos contra la Prostitución de Menores, los Actos Relacionados con la Pornografía Infantil, etc., y Ley para la Protección de Menores |
| 自動車の運転により人を死傷させ る行為等の処罰に関する法律 | Ley que penaliza los Actos que causan Muertes y Lesiones por Manejo de Bicicletas |
| 児童福祉法 | Ley de Asistencia Social para Menores |
| 銃砲刀剣類所持等取締法 | Ley de Control de Armas de Fuego y Espadas |
| 出入国管理及び難民認定法 | Ley de Control de Inmigración y Reconocimiento de Refugiados |
| 少年院法 | Ley de Escuelas de Disciplina de Menores |
| 少年鑑別所法 | Ley de Casas de Clasificación de Menores |
| 少年審判規則 | Normas para el Procesamiento de Menores |
| 少年の保護事件に係る補償に関 する規則 (少年補償規則) | Norma de Indemnización para Casos de Menores (Normas de Indemnización de Menores) |
| 少年の保護事件に係る補償に関 する法律 (少年補償法) | Norma de Indemnización para Casos de Menores (Normas de Indemnización de Menores) |
| 少年法 | Ley de Menores |
| 商法 | Código de Comercio |
| 職業安定法 | Ley de Estabilidad Laboral |
| 人身保護法 | Ley de Habeas Corpus |
| 新東京国際空港の安全確保に関 | Ley sobre Medidas de Emergencia para la Seguridad del |

| | |
|--|--|
| する緊急措置法 | Nuevo Aeropuerto Internacional de Tokio |
| 森林法 | Ley Forestal |
| 精神保健及び精神障害者福祉に 関する法律 | Ley de Salud Mental y Bienestar de los Discapacitados Mentales |
| 船員法 | Ley de Marinería |
| 船舶安全法 | Ley de Seguridad en los Buques |
| 船舶職員法 | Ley para el Personal de Buques |
| 船舶法 | Ley de Buques |
| 組織犯罪処罰法（組織的な犯罪 の処罰及び犯罪収益の規制等に 関する法律） | Ley que penaliza los Crímenes Organizados (Ley sobre las Sanciones a los Delitos cometidos por Organizaciones Criminales y sobre el Control de Lucros Delictivos) |
| 〔た行〕 | 〔た行〕 |
| 大麻取締法 | Ley de Control de Cannabis |
| 著作権法 | Ley sobre los Derechos de Autor |
| 通貨及証券模造取締法 | Ley sobre el Control de Falsificación de Monedas y Valores |
| 鉄道営業法 | Ley de Actividades Ferroviarias |
| 電気通信事業法 | Ley de Actividades de Telecomunicaciones |
| 電波法 | Ley de Radio (de Control de Ondas Radiales) |
| 盗犯等ノ防止及処分ニ関スル法 律 | Ley para la Prevención y Control de Robos, Hurtos, etc. |
| 逃亡犯罪人引渡法 | Ley de Extradición |
| 道路運送車両法 | Ley de Transporte de Cargas por Carretera |
| 道路交通法 | Ley de Tránsito |
| 毒物及び劇物取締法 | Ley sobre el Control de Sustancias Venenosas y Peligrosas |
| 〔な行〕 | 〔な行〕 |
| 日本国憲法 | Constitución de Japón |
| 日本国とアメリカ合衆国との間の 相互協力及び安全保障条約（安 保条約） | Tratado de Seguridad y Cooperación Mutua entre los Estados Unidos de América y Japón (Tratado de Seguridad) |
| 日本国とアメリカ合衆国との間の 相互協力及び安全保障条約第 6 条に基づく施設及び区域並びに 日本国における合衆国軍隊の地 位に関する協定の実施に伴う刑事 特別法 | Ley Especial en lo Penal acordado por el Artículo VI del Tratado de Seguridad y Cooperación Mutua entre los Estados Unidos de América y Japón, que establece las Instalaciones, Áreas y Estatus para las Fuerzas Militares Estadounidenses |
| 日本国における国際連合の軍隊 | Ley Penal Especial sobre la Aplicación de lo acordado |

| | |
|--|---|
| の地位に関する協定の実施に伴う 刑事特別法 | en el Tratado sobre el Estatus de las Fuerzas Militares de las Naciones Unidas instaladas en Japón |
| 〔は行〕 | 〔は行〕 |
| 売春防止法 | Ley contra la Prostitución |
| 破壊活動防止法 | Ley para la Prevención de Actividades Subversivas |
| 爆発物取締罰則 | Ley sobre el Control de Explosivos |
| 罰金等臨時措置法 | Ley sobre Medidas Provisorias referentes a las Multas |
| 犯罪捜査規範 | Regulación para las Investigaciones de Delitos |
| 犯罪捜査のための通信傍受に關 する法律 | Ley sobre las Escuchas de Comunicaciones para las Investigaciones de Delitos |
| 犯罪者被害者等給付金支給法 | Ley de Pensiones para Víctimas de Crímenes; Ley de Indemnización a las Víctimas de Crímenes |
| 犯罪被害者等の保護を図るため の刑事手続に付随する措置に關 する法律 | Ley sobre las Medidas que acompañan a los Trámites Penales para la Protección de Víctimas de un Delito |
| 風俗営業等の規制及び業務の適 正化等に関する法律 | Ley sobre el Control de Comercios que atentan contra la Moral Pública |
| 武器等製造法 | Ley sobre la Fabricación de Armas |
| 法廷等の秩序維持に関する法律 | Ley sobre el Mantenimiento del Orden en el Tribunal |
| 暴力行為等処罰ニ關スル法律 | Ley que penaliza los Actos de Violencia Física y Otros |
| 保護司法 | Ley de Asistencia Voluntaria para la Rehabilitación de los Delincuentes |
| 〔ま行〕 | 〔ま行〕 |
| 麻薬及び向精神薬取締法 | Ley de Control de Narcóticos y Psicotrópicos |
| 麻薬及び向精神薬取締法等特例 法（国際的な協力の下に規制薬 物に係る不正行為を助長する行 為等の防止を図るための麻薬及 び向精神薬取締法等の特例等に 關する法律） | Ley de Excepción del Control de Narcóticos y Psicotrópicos (Ley sobre las excepciones de la Ley de Control de Narcóticos y Psicotrópicos, para la prevención bajo cooperación internacional de actos que ayudan a los actos ilícitos en relación a las drogas controladas) |
| 未成年者飲酒禁止法 | Ley de Prohibición de Consumo de Bebidas Alcohólicas por parte de los Menores |
| 未成年者喫煙禁止法 | Ley de Prohibición de Fumar por parte de los Menores |
| 民事訴訟法 | Código de Procedimiento Civil |
| 民法 | Código Civil |
| 〔や行〕 | 〔や行〕 |
| 有線電気通信法 | Ley de Telecomunicaciones por Cables Eléctricos |
| 郵便法 | Ley de Correos |

[ら行]

領海及び接続水域に関する法律

領事関係に関するウィーン条約
(ウィーン条約)

旅券法

労働基準法

[ら行]

Ley sobre el Mar Territorial y las Zonas de Aguas Colindantes

Convención de Viena sobre Relaciones Consulares
(Convención de Viena)

Ley de Pasaporte

Ley de Estándares de Trabajo; Ley de Condiciones de Trabajo

第 5 罪名

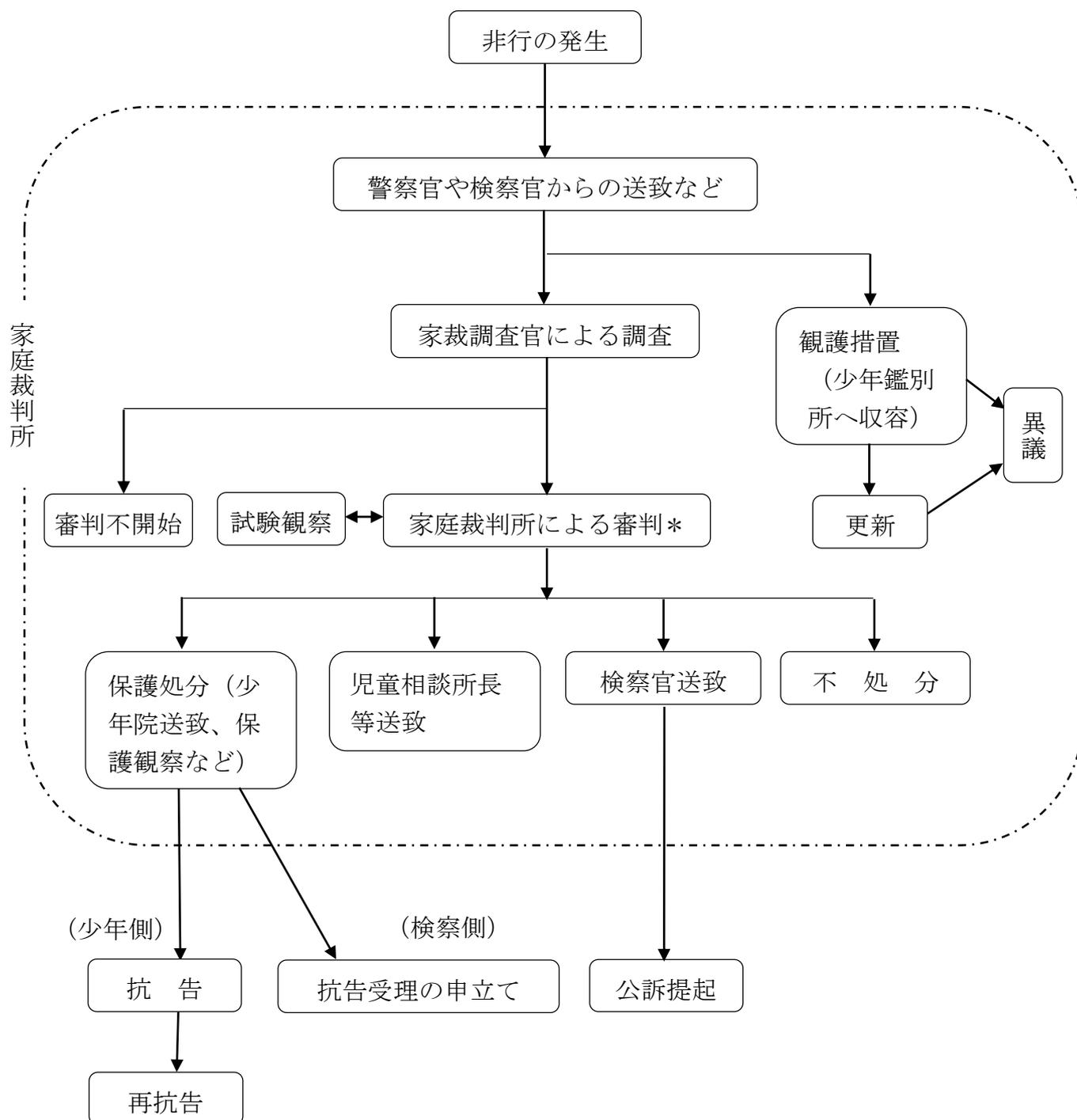
| | |
|------------|---|
| 〔あ行〕 | 〔あ行〕 |
| 遺棄罪 | abandono |
| 遺棄致死傷罪 | muerte o lesiones por abandono |
| 遺失物等横領罪 | apropiación ilícita de artículos perdidos (hallados) |
| 威力業務妨害罪 | obstrucción de actividades comerciales |
| 往来危険罪 | causar peligros en el tránsito |
| 横領罪 | apropiación indebida de bienes; estafa |
| 〔か行〕 | 〔か行〕 |
| 覚せい剤取締法違反 | violación de la Ley de Control de Drogas Estimulantes |
| 過失傷害罪 | lesiones ocasionadas por negligencia |
| 過失致死罪 | muerte ocasionada por negligencia |
| 過失運転致死傷罪 | muerte o lesiones ocasionadas por conducir un vehículo negligentemente |
| 危険運転致死傷罪 | muerte o lesiones ocasionadas por conducir un vehículo peligrosamente |
| 偽証罪 | falso testimonio; perjurio |
| 偽造外国通貨行使罪 | poner en circulación moneda extranjera falsificada |
| 偽造通貨行使罪 | poner en circulación moneda falsificada |
| 偽造無印公文書行使罪 | hacer circular documentos oficiales falsificados sin sello o firma |
| 偽造無印私文書行使罪 | hacer circular documentos privados falsificados sin sello o firma |
| 偽造有印公文書行使罪 | hacer circular documentos oficiales falsificados con sello o firma |
| 偽造有印私文書行使罪 | hacer circular documentos privados falsificados con sello o firma |
| 偽造有価証券行使罪 | poner en circulación valores (acciones) falsos |
| 器物損壊罪 | destrucción de propiedad |
| 恐喝罪 | extorsión; amenaza extorsiva |
| 強制わいせつ罪 | ataque indecente; obscenidad compulsiva |
| 強制わいせつ致死傷罪 | muerte o lesiones causadas durante un ataque indecente; obscenidad compulsiva resultante en muerte o lesiones |
| 脅迫罪 | amenaza; intimidación |
| 業務上横領罪 | apropiación indebida o estafa durante el ejercicio de una actividad profesional |
| 業務上過失往来危険罪 | causar peligros en el tránsito por negligencia durante el desarrollo de una actividad profesional |

| | |
|---------------|---|
| 業務上過失傷害罪 | lesiones causadas por negligencia durante el desarrollo de una actividad profesional |
| 業務上過失致死罪 | muerte causada por negligencia durante el desarrollo de una actividad profesional |
| 強要罪 | coacción; compulsión |
| 現住建造物等放火罪 | incendio intencional en edificio habitado |
| 建造物等以外放火罪 | incendio intencional de objetos que no son edificios |
| 建造物等延焼罪 | propagación del incendio a otras edificaciones |
| 公印偽造罪 | falsificación de sello oficial |
| 公印不正使用罪 | uso ilícito (indebido) de sello oficial |
| 強姦罪 | violación; abuso sexual |
| 強姦致死傷罪 | muerte o lesiones causadas por violación |
| 公正証書原本不実記載罪 | escribir datos falsos en documentos oficiales autenticados |
| 公然わいせつ罪 | obscenidad pública; indecencia pública |
| 強盜強姦罪 | violación durante el robo; robo con violación |
| 強盜強姦致死傷罪 | muerte o lesiones ocasionadas por violación durante el robo; robo con violación resultante en muerte o lesiones |
| 強盜罪 | robo; asalto; robo a mano armada; atraco |
| 強盜致死罪 | robo resultante en muerte |
| 強盜致傷罪 | robo resultante en lesiones |
| 強盜予備罪 | acto de preparar un robo; planear un robo |
| 公用文書毀棄罪 | destrucción de documentos públicos |
| 公務執行妨害罪 | obstrucción del desempeño de deberes públicos de un funcionario |
| 昏睡強盜罪 | robo perpetrado luego de dejar inconsciente a la víctima |
| 〔さ行〕 | 〔さ行〕 |
| 詐欺罪 | fraude; estafa |
| 殺人罪 | homicidio; asesinato |
| 殺人予備罪 | acto de preparar un homicidio; planear un homicidio |
| 私印偽造罪 | falsificación de sello particular |
| 私印不正使用罪 | uso indebido (ilícito) de sello particular |
| 死体遺棄罪 | abandono de cadáver |
| 重過失傷害罪 | lesiones causadas por una grave negligencia |
| 重過失致死罪 | muerte causada por una grave negligencia |
| 住居侵入罪 | ingreso no autorizado en vivienda ajena; entrada no autorizada a propiedad ajena |
| 銃砲刀劍類所持等取締法違反 | violación de la Ley de Control de Armas de Fuego y Espadas |
| 傷害罪 | agresión física; lesiones físicas |

| | |
|-----------------|---|
| 傷害致死罪 | agresión física resultante en muerte; lesiones físicas resultantes en muerte |
| 常習賭博罪 | reiteración de juegos de azar ilegales |
| 常習累犯窃盜罪 | reiteración de hurto con condena acumulada; hurto reincidente y habitual |
| 証人威迫罪 | intimidación o amenaza a un testigo |
| 証拠隠滅罪 | destrucción de pruebas o evidencias |
| 窃盜罪 | robo menor; ratería; hurto |
| 贈賄罪 | soborno |
| | |
| 〔た行〕 | 〔た行〕 |
| 逮捕監禁罪 | arresto y encarcelación ilegal (indebido) |
| 逮捕監禁致死傷罪 | muerte o lesiones causadas por arresto y encarcelación ilegal (indebido) |
| 単純逃走罪 | escape simple (de una prisión) |
| 通貨偽造罪 | falsificación de dinero |
| 盗品等無償譲受け罪 | recibo gratuito de objetos robados |
| 盗品等有償譲受け罪 | recibo oneroso de objetos robados |
| 道路交通法違反 | violación de la Ley de Tránsito |
| 毒物及び劇物取締法違反 | violación de la Ley de Control de Sustancias Venenosas y Peligrosas |
| 賭博場開帳罪 | apertura ilegal de sala de juegos prohibidos |
| 賭博罪 | juegos de azar prohibidos |
| | |
| 〔は行〕 | 〔は行〕 |
| 背任罪 | abuso de confianza |
| 犯人蔵匿罪 | refugiar o esconder a un criminal; encubrir a un delincuente |
| 非現住建造物等放火罪 | incendio intencional en edificio deshabitado |
| 売春防止法違反 | violación de la Ley contra la Prostitución |
| 放火罪 | incendio provocado; incendio intencional |
| 暴行罪 | violencia física; agresión; ataque |
| 暴力行為等処罰ニ関スル法律違反 | violación de la Ley que penaliza los Delitos de Violencia Física |
| 保護責任者遺棄罪 | abandono por parte de la persona responsable en circunstancias de gravedad |
| 保護責任者遺棄致死傷罪 | muerte o lesiones causadas por abandono por parte de la persona responsable en circunstancias de gravedad |
| | |
| 〔ま行〕 | 〔ま行〕 |
| 麻薬及び向精神薬取締法違反 | violación de la Ley de Control de Narcóticos y |

| | |
|---------------|--|
| 身の代金目的拐取罪 | Psicotrópicos secuestro con objetivo de exigir un rescate |
| 身の代金目的拐取幫助罪 | colaboración en un secuestro con objetivo de exigir un rescate |
| 身の代金目的拐取予備罪 | planear un secuestro con objetivo de exigir un rescate |
| 身の代金目的被拐取者収受罪 | recibir al secuestrado para obtener un rescate |
| 無印公文書偽造罪 | falsificación de un documento oficial sin sello o firma |
| 無印私文書偽造罪 | falsificación de un documento privado sin sello o firma |
| 名誉毀損罪 | difamación; calumnia; injuria |
| [や行] | [や行] |
| 有印公文書偽造罪 | falsificación de un documento oficial con sello o firma |
| 有印私文書偽造罪 | falsificación de un documento privado con sello o firma |
| 有価証券偽造罪 | falsificación de valores (acciones) |

少年保護事件の手続の流れ



* 複雑困難な重大事件などでは、①3人の裁判官が審判したり、②検察官が立ち会うことがあります。